

第五十回帝國議會 清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案(柏田忠一君外一名提出)

清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案(柏田忠一君外一名提出)、同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國臣民ノ救恤ニ關スル法律案(今里準太郎君提出) 委員會議錄(速記)第三回

會議

大正十四年三月六日(金曜日)午後二時開議

出席委員左ノ如シ

委員長 田中 萬逸君

理事 來栖 七郎君

橋本 喜造君 神田 正雄君

永田善三郎君 柏田 忠一君

長峰 與一君 山口 政二君

佐々木平次郎君

出席政府委員左ノ如シ

朝鮮總督府政務總監 下岡 忠治君

朝鮮總督府財務局長 草間 秀雄君

臺灣總督府總務長官 後藤 文夫君

外務政務次官 中村 巍君

外務參與官 永井柳太郎君

外務省條約局長 山川 端夫君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

湯淺 凡平君 今里準太郎君

松山常次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案(柏田忠一君外一名提出)

同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國臣民ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出)

賠償金特別會計法廢止法律案(政府提出)

提出

海外移民政策確立即行ニ關スル建議案(今里準太郎君提出)

成鏡線ニ關スル建議案(松山常次郎君提出)

朝鮮及臺灣ニ地方自治制施行ニ關スル建議案(神田正雄君外一名提出)

○田中委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス、一寸申上ゲマスガ、先日ノ委員會ニ於テ「オコック」ニ關スル政府ノ答辯ガ保留サレテ居リマスカラ、此際其答辯ヲ求ムルコトニ致シマセウ

○山川政府委員 「オコック」海ノ漁場ノ損害ノ點ノ御質問デアリマシタガ、今此委員デ問題ニナツテ居リマスノハ、獨逸トノ戰爭ノ場合ニ損害ヲ受ケタ者ノ中デ、對獨逸和條約第八篇ノ中ニ規定シテアルモノニ當ル者、ソレカラ戰爭當時ニ青島ヲ引揚ゲタトキ、損害ヲ受ケタ者ニ對スル救恤デアリマス、

「オコック」ノ事件ハ、戰爭ニ何等關係ノナイ事件デアリマシテ、此救恤問題トハ全然違ッタ問題ト承知シテ居ルノデアリマス、尙ホ此「オコック」ノ漁場ノ問題ニ付テ其内容ヲ申上ゲマスレバ、大正十二年ノ露國事變及ビ西伯利事變ニ因ル損害ニ關スル救恤金ヲ下附スル時ニ、或ル程度ノ救恤ハシテアルノデアリマス、尙ホ此問題ニ付キマシテハ、此

議會ニ或ル委員會ニ於テ他ノ政府委員カラ、詢ニ是ハ氣ノ毒ノ事情デアルコトヲ諒トスルケレドモ、政府ハ目下考慮スル考ヲ以テ居ナイト云フコトヲ申上ゲマシタガ、ドウカサウ御承知ヲ願ヒマス

○田中委員長 一寸今同盟國及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ、損害ヲ被リタル帝國臣民ノ救恤ニ關スル法律案ノ質問ハ終リマシタケレドモ、ソレニ關聯シタ「オコック」ニ關スル件ハ、御聽キノ如ク答辯サレマシタガ、之ニ關聯シテ尙ホ質問ヲ許シテ如何デアリマセウカ

○佐々木委員 ソレデハ御迷惑デアリマセウガ、只今ノ委員長ノ御言葉ニ添ヘマシテ、其質問ガ御濟ミニナッタラ、私ニモ一言御許ヲ願ヒマス、關聯シタコトデスカラ……

○田中委員長 「オコック」ノ質問ヲ許シテ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○田中委員長 ソレデハ永田君

○永田委員 只今山川政府委員ノ御答辯ガアリマシタ、御尤トシテ承致シマス、又此委員會ト關係ノナイコトモ承知シテ居リマス、隨テ此際此事ニ付テ長イ時間ヲ取リタイトハ思ヒマセヌガ、折角話ガ出タコトデアリマスカラ、意見ヲ陳述致シマシテ、御差支ガナカッタラ、ソレニ御答辯ヲ願ッテ置クノガ、他ノ機會ニ於テ便利ガアルカト思ッテ居リマス、此意味ニ於テ御答ヲ願ヒマス、是ハ大分長イ問題デアリマシテ、大正十年ノ二月四十四議會ノトキニ矢張此問題ガ出テ居リマシテ、ソレガズツト繼續シテ居ルヤウデアリマスガ、事實カラ申シマスト其當時此委員會デ質問ガアツテ、其結果當業者ハ政府カラ便利ヲ與ヘラレタト云フ事實モアルノデアリマス、併シ其當時ノ政府委員ノ説明ト其後ニ外務省カラ御盡力ヲ願ッタコト、ハ、大分其間ニ懸隔ガアルト云フノデ、今以テ此問題ハ解決シナイノデ、相當機會ニ此事ニ付テ御願ヒヲシタイト云フ希望ヲ持ッテ居ルヤウデアリマス、當時ノ詳細ハ申シマセヌガ、大正十年二月二十五日、水產法案ノ委員會ノ第二回ノ最後ノ場合ニ於キマシテ、外務省ノ田中政府委員ハ斯ウ云フコトヲ言ウテ居リマス、詰リ「オコック」事件ニ對シテ、最後ノ結論ノ所ニ於テ、只今ノ御質問ハ或ハ私カラ答辯シマスノハ當ヲ得ナイカモ知レマセヌガ、外務大臣其他ノ當局ガ居ラレマセヌカラ、便宜上私ノ考ヘダケ申上ゲマス「オコック」事件ノ損害ガ無論重要ナ案件デアリマスカラ、之ニ對シテ政府ガ解決ヲ忽ニ

スルコトガ出来ヌト云フコトハ御同感デアリマスガ、ソレト同時ニ尼港事件ニ就キマシテモ同ジク重要ナ問題デアリマス、其間ニ輕重ヲ付ケマシテ、一方ハ漁業權カラ發生シタモノデアリマスカラ之ヲ先ニシナケレバナラヌト云フヤウナ事ニ果シテ行ヘルモノデアアルカドウカ、私トシテハ疑ヲ持ッテ居リマス、孰レニシテモ何方ガ先キニナルトカ、後ニナルトカ、前後ヲ爭フ問題デハナク、兎ニ角尼港事件ト云ヒ「オコック」事件ト云ヒ、此損害ヲ受ケタル者ニ對シテハ、十分ナル補償ノ途ヲ講ジナケレバナラヌト考ヘマス、其間ニ甲乙ノ區別ヲ立テルト云フコトハ政府トシテハ甚ダ遺憾ノ事ト存ジマス、唯、請求スル理由ニ至リマシテハ、一方ハ條約上ノ權利ヲ土臺トシ、一方ハ國際上ノ不法行為ヲ理由トシテ致スノデアリマスカラ其理由ハ自ラ違ヒマセウケレドモ、其損害ノ要求スベキ緩急ノ問題ニ至リマスルト、必ズシモ甲乙ハ無イモノト私ハ考ヘマス、斯ウ云フ御答辯デアッタノデアリマス、當時ハ事件ノアツタ直後デアル關係モアリマセウ、非常ニ政府デモ此事ハ重キヲ置イテ見テ居テレタノデアリマス、然ルニ其後此「オコック」事件デ損害ヲ受ケタル者ガ二通りニナツテ居ル、日露漁業株式會社ト、ソレ以外ノ出漁者、斯ウ云フヤウニ損害ヲ受ケタル團體ガ分レテ居ル、其日露漁業ニ關スル方ニハ、當時千三百萬以上

ノ貸付ヲ政府ガ御手傳ヒヲシテヤラレタト云フヤウナ關係デ、此損害賠償ノ有力ナル一ツノ團體ト云フモノガ、此問題カラ取除カレタ形ニナツタ、ソコデ後ノ殘リタモノハ、損害ノ爲メ再ビ起ツ能ハザル狀態ニ陷レラレテシマッタヤウナ者ノミガ殘サレタ、隨テソレ等ノ人ノ言フ事ガ世上ニ有力ニ響カナイ、後援者モ無イ、斯ウ云フ結果同ジ損害ヲ受ケタ一方ハ、大ナル保障ノ意味ニ於テ便利ヲ得テ居ルガ、一方ハソレニ與カラナイ、斯ウ云フコトガ引續イテ居ルノデアリマス、故ニ私共ガ公平ニ見マス、段々事件ハ遠ザカッテ居リマスガ、今日ニ於テ更ニ之ヲ外務省ニ御考慮ヲ願フコト云フコトハ、今回日露條約ガ締結サレ、兩國ノ國交ガ恢復シタ此機會ニ於テ、特ニ御考ヲ願フノガ適當デハナイカ、殊ニ其當時ノ當業者ト當局トノ間ニ於テハ、損害ノ調査其他ニ付テモ、相當御諒解ガアル筈デアル、サウシテ當時借區料トシテ回收出來ル所ノ金額、其他百六十餘萬圓ト云フ金ヲ、其後露西亞トノ國交恢復デ之ヲ返シテシマッタガ、其當時ハ其金ヲ目當ニシテ、借區料ハ損害賠償ノ意味デ帝國政府ガ露西亞カラ取レバ、ソレヲオ前達ニ返シテヤル、斯ウ云フヤウナ意味モ含マレテ、其金ガ目ノ前ニアルノデ、其中ニドウカナナルダテウト思ッテ居タ、然ルニ其金モ露西亞ニ引渡シテシマッタ、當業者ニハ何等ノ御處置モナ

イ、斯ウ云フ關係上長ク停止セラレテアツタ問題ガ、日露兩國國交恢復ヲ機會トシテ、其際ニ於テ豫想サレテ居タ一種ノ財源ト云フモノガ失クナツテシマッタト云フ關係上、俄ニ心配致シテ近頃世上ニ於テ相當ヤカマシイ問題ニナツテ居ルノデアリマス、此機會ニ於テ當局ノ御考ヲ承リマスレバ幸ヒデアリマス、先程ノ政府委員ノ御話デハ、他ノ委員會ノ機會ニ於テ、ソレハ出來ナイト仰シヤイマスガ、此速記録ヲ見マスルトサウ簡單ナ問題デナイ、今日マデ此問題ガ殘ッテ居ルノハ、損害ヲ受ケタル當局トノ間ニ相當諒解ガアッテ、今日マデオトナシク濟ンデ居ッタノデアリマス、然ラズンバモットヤカマシクナッタノデハナイカト推察スル次第デアリマス、政府委員ノ更ニ御再考ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○山川政府委員 此問題ニ付キマシテハ、政府デモ從來相當考慮ヲ致シタノデアリマス、先程申シマシタヤウニ、露國政變及西伯利事變ニ依ル損害ニ對シテ、被害者ニハ十萬圓餘ヲ交付スル、ソレカラ大正十年デアリマシタカ、日露實業株式會社ヲシテ被害者ニ金十萬圓許リ貸付ケルトカ、兎モ角此問題ニ付キマシテハ政府トシテハ今日マデ相當ノ手段ヲ執ッテ參ッタノデアリマス、尙ホソレハ損害ノ額カラ見マス、或ハ不滿ノ點ガアルカモ知レマセヌガ、政府トシテハ相當ノ手段ヲ執ッタノデアリマス、サウ云フ次第デアリマスガ、今後更ニ之ニ對シテ何カノ手段ヲ執レト云フ御話デアリマスレバ考慮ハ致シマスアレドモ、ソレニ對シテ今ドウスルト云フ御答辯ハ出來ナイノデアリマス、此點ヲ御諒承ヲ願ヒマス

○田中委員長 湯淺君カラ本件ニ關シマシテ委員外デアアルガ質問シタイト云フ御希望デアリマスガ、許シマシテ差支アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○田中委員長 ソレデハ委員ノ質問ガ終了シマシタカラ御許シスルコトニ致シマス

○佐々木委員 私ハ「オコック」問題ニ付キマシテハ、相當今日マデノ經過ヲ承知シテ居ルノデアリマスガ、其立場ト致シマシテ適當ノ機會ガアレバ御尋シテ見タイ、又必シモ委員會デナクテモ、政府ノ方ト親シク御意見ヲ交換スル機會ヲ得タイト思ッテ居リマシタガ、今日圖ラズモ此問題ガ出マシタカラ、委員長ノ御許ヲ得テ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、今外務省ノ政府委員ノ御答辯ニ依リマス、先日豫算委員會ニ於キマシテモ、中村嘉壽サンダト思ヒマスガ、農商務大臣ニ對シテ此問題ヲ御問ヒニナリマシタ所、ソレニ對スル農商務大臣ノ御答ハ、矢張今山川サンノ御答ニナツタヤウナコトヲ御答辯ニナツテ居リマシタ、私ハ其當時傍聽シテ居リマシタガ、私ノ御尋シタイノハ日

本政府カラ救済ヲ受ケヤウト云フヤウ
ナ考ハ、當業者トシテハ寸毫モ持ッテ居
ラヌノデアリマス、先年四十五議會デ
アリマシタカ、四十六議會デアリマシ
タカ、救恤金ヲ戴イタコトモ私モ其當
時ノ委員トシテ承知シテ居リマス、サ
ウ云フ次第デアリマスカラ、日本ノ政
府カラ此上更ニ御厄介ニナラウトハ當
業者ハ考ヘテ居ラヌノデアリマスガ、
今日露ノ國交ガ恢復シテ、國際間ノ問
題ハ兩國ノ間ニ今後堂々トシテ御交渉
シ得ル立場トナッタノデアリマスカラ、
ドウカ今後適當ノ時ニ於テ、此損害ノ
賠償ヲ政府ヨリ露西亞ニ交渉ナサレ
テ、サウシテ露西亞政府カラ取ッテ戴キ
タイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
其理由ヲ簡單ニ申上ゲマスト斯ウ云フ
ノデアリマス、御承知ノ如ク露西亞ト
日本トノ間ハ、露西亞ノ政變ニ依ッテ國
交ガ斷絶ノ狀態ニナッテ居リマシタ、然
ルニ日本ト致シマシテハ「ホーツマウ
ス」ノ條約ニ依ッテ出來タ所ノ漁業協約
ヲ、如何ニ露西亞ニ國內ノ政變ガア
リマシテモ、日本ノ既得權トシテ之ヲ
放ッテ置ク譯ニハ行カナイ、ソレデア
カラ飽迄モ此既得權ヲ擁護スルヤウニ
行使シテ置カケレバナラヌト云フ意
見ヲ政府ハ御持ニナリマシテ、如何ニ
シタナラバ此權利ヲ完全ニ行使スルコ
トガ出來ルデアラウカト云フコトヲ御
考ニナリマシタ上ニ、大正九年ノ初ト
思ヒマスガ、時ノ政府ハ加藤恒忠サン
ヲ特命全權公使トシテ「オムスク」マデ
派遣セテレテ、サウシテ兎ニ角極東ニ
ハソレヨリ外ニ露西亞ノ官憲ト云フモ
ノハナカッタノデアリマスカラ、是ト交
渉ヲスルコトガ此場合適當デアラウト
云フ考ヲ以テ、加藤サンガ彼方ヘ御出
シナッテ「オムスク」ノ官憲ト交渉ヲ遂
ゲマシタ結果、大正九年一箇年ダケハ
露西亞ノ帝政時代ニ結バレタ所ノ日露
ノ漁業協約ヲ骨子トシテ、之ニ依ッテ一
箇年ダケノ暫定契約ヲ結ビマセウト云
フコトニナリマシテ、其結果浦潮斯德
ニ於テ、舊來ノ形式ヲ執ッテ日露兩國人
ニ對シテ漁區ノ競賣ヲ施行セラレタノ
デアリマス、無論、此競賣ハ公式デアリ
マス、當時日本ノ總領事ガ之ニ參加シ
テ居リマシテ、悉ク其文書ノ交換等ヲ
外務省トノ間ニセラレテ居リマシテ、
其入札ニ漁業權ヲ持ッテ居ル日本人ガ
參加シテ、サウシテ漁場ノ數ハ確カニ
ハ覺エマセヌケレドモ、相當ノ漁場ヲ
落札シテ、露西亞ノ法規ノ定ムル所ニ
依ッテ、正式ノ契約ヲ締結シタノデアリ
マス、サウシテ借區料其他ノ公課金モ
義務トシテ支拂ヒ、茲ニ權利ヲ獲得シ
タノデアリマス、而シテ總テノ義務ヲ
果シテ、權利ヲ行使スル爲ニ其契約ヲ
携ヘテ漁業ニ行ッタノデアリマス、所ガ
丁度尼港ノアノ慘害事件ト殆ド同時
ニ、「オコック」ニ在ル三十數箇所ノ日
本ノ漁場ヲ、露西亞ノ「バルチザン」デ
アルカ、ドウカ知レマセヌガ、兎ニ角
「ニコライスク」ノ方ト連絡ヲ取ッテ居
ル一派ガ火ヲ點ケテ燒イテシマッタ、折
角準備ヲ調ヘテ「オコック」ニ行ッテ見
タ所ガ全部燒カレテ漁業ヲスルコトガ
出來ナクナッタ、ソコデ已ムヲ得ズ其年
ハ泣ク／＼休業ヲシタ者ガ多數アリマ
ス、中ニ力ノアル者ハ再ビ準備ヲ調ヘ
直シテ、多少時機ハ失ヒマシタケレド
モ出漁シタ人モ多少ハアリマスガ、多
數ハ其年ハ出來ナクナッタ、ソレガ原因
トナッテ翌年モ、翌々年モ殆ド破産狀態
トナッテ今日非常ナル苦ミヲシテ居ル
人モアルノデアリマス、サウ云フ譯デ
其事情ハ農商務外務ニ十分ニ陳情シテ
アリマシテ、兩者ハ此事情ヲ能ク御承
知デアリマス、サウシテ其陳情シタ時
ニ洵ニ氣ノ毒デアアル、困ッタモノダ、併
ナガラ何ヲ云ッテモ今ノ日露ノ狀態ハ
ドウモ交渉スル時機ニナッテ居ラナイ、
ソレデアアルカラ何レ適當ノ時機ノ來ル
マデ待テ、斯ウ云フ風ニ慰メテ居ラレ
タノデアリマス、其後露國政變、西伯利
事變ノ爲ニ損害ヲ被ッタ者ヲ救恤スル
所ノ法律案、或ハ又西伯利カラ引上ゲ
マシタ爲ニ損害ヲ受ケタ被害者ヲ救済
スル法律案ガ出マシタ折、若クハ其他
建議案等デ度々此問題ニ付テ質問應答
ヲシタノデアリマスガ、只今永田サン
ガ御論ジニナッタヤウニ、何時デモ政府
ニ於テハ現在ハ遺憾ナガラ相手トスベ
キ政府ガナイガ、適當ノ政府ノ樹立セ
ラレタ時ニハ、ドウカシテヤルカラ、ソ
レマデハ待テト云フヤウニ言ハレテ居
ツタイデアリマス、大臣若クハ次官其
他ノ政府委員ガ、今ハ仕方ガナイガ、相
當ノ時期マデ待テト云フ答辯ヲサレ
タ、其材料ヲ持ッテ居リマスガ、ソレヲ
申上ゲルト長クナリマスカラ、要領ヲ
申上ゲレバ、サウ云フ次第デアリマス、
モウ一ツハ其當時極端ニ困ッタ十名ノ
人ニ對シテ、外務省農商務省ニ於テモ、
誠ニ氣ノ毒デアアルト云フノデ、他日露
西亞ニ渡スベキ所ノ百數十萬圓ノ金ガ
兩省ノ御監督ノ下ニ或ル銀行ニ預ケテ
アルノデアリマス、其金ノ中カラ十萬
圓ダケヲ或ル期間ヲ限ッテ融通サセル
コトノ御承認ヲ得タノデアリマス、ソ
レデ取敢ズ其十名ニ對シテ一人十萬圓
宛金ヲ融通スルコトニナリマシタガ、
直接ト云フ譯ニハ行キマセヌノデ、中
ニ日露實業株式會社ヲ入レテ銀行カラ
金ヲ出シマシタ、所ガ融通ヲ受ケテ金
ハ借りマシタケレドモ、約束ノ時期ニ
拂フコトガ出來ナクッタ、段々利息ガ重
ナッテ非常ニ困ッタ、其處デ大正十二
年八月十五日ヲ以テ露西亞側ニ計算スベ
キ時期ガ迫ッテ來タノデアリマス、其時
ニ日露實業カラ非常ニ嚴重ナ催促ヲ受
ケテ、借りタ人々ハ殆ドモウ絶對絶命
困ッタ立場ニナッタノデアリマス、其時
ニ外務省、農商務省カラ借りタ關係カ
ラ、非常ニ困ッテ居ル所ヲ懇ヘマシタト
キニ、兩省カラ若シ組合デ承知スルナ
ラバ、現在組合ガ保管シテ居ル金ノ中

カラ、其十萬圓ヲ日露實業ニ代ッテ返シテ貰フコトヲ認メテアラウト云フノデ、當業者トシテハ日露實業カラ借リタ利息ハ高イガ、組合ノ方ニスレバ銀行ノ預金利子デ宜シイト云フコトデ、利息ダケデモ助カルシ、又八月十五日ヲ以テ露西亞側カラ少クトモ十萬圓ノ金ハ這入ルデアラウト云フ豫想ガアリマシタ爲ニ、到頭組合ハ此十萬圓ノ金ヲ立換ヘテ日露實業ニ返濟シタノデアリマス、ソレデ片一方ノ方トハ縁ガ切レテ居リマス、サウシテ愈々八月十五日ニナツテ、色々露西亞側ニ交渉ヲシマシタケレドモ「オコック」ノ被害ニ對スル十萬圓ノ金ヲ取敢ズ引去ルコトヲ、ドウシテモ露西亞側ガ承知シナイ、外務省トシテハソレヲ差引イテアラウト云フ意思ハ十分ニアリマス、ソレハ此間豫算委員會ノ時ニモ一寸申上ゲマシタガ、モウ一遍御參考ニ申上ゲマスガ、當時内田外務大臣ガ日露漁業關係ノ日露共同委員會ニ列席シタ山口委員長ニ對シテ訓示ガアリマシタガ、其中ニ斯ウ云フコトガアッタノデアリマス「オコック」事件被害者ニ融通セル十萬圓ニ付テハ其事情ヲ明ニシ露國側ニ交付スヘキ金額ヨリ控除方ヲ主張スルト共ニ之カ爲メ「オコック」事變損害賠償金ヲ放棄スルニ非サル旨ヲ明ニ爲シ置クコト」ト云フコトガアッタノデアリマス、之ヲ見テモ外務省トシテハ取敢ズ渡スベキ十萬圓ハ差引イテヤルケレドモ、

此十萬圓ヲ差引イタト云ウテ是デ「オコック」ノ被害ノ賠償金ハ帳消ニナツタモノデナイト云フコトガ、此文章ノ中ニ明ニナツテ居リマス、之ヲ見テモ他日適當ノ時期ニ於テ賠償サセル御意思ガアッタト云フコトヲ深ク信ジテ居ッタノデアリマス、サウ云フ次第デアリマスノデ、今デモマダ漁業組合ノ財産カラ、十萬圓ノ金ヲ十名ノ人ニ對シテ御立換ヘシテ居ルノデアリマス、サウシテ政府カラハ此賠償ノコトニ付テハ何等一文モ受ケテ居リマセヌ、色々主張ハシマシタガ、會議ニ於テ露國側ハ此十萬圓ヲ差引クコトヲ承知シナイ、日本側ハ之ヲ主張スル、隨分突張り合ヒヲシマシタケレドモ、此問題ノ爲ニ永ク時間ヲ費シテ、是ノ爲ニ決裂スルヤウナコトニデモナレバ、總テ北京交渉ニ響クデアラウト云フヤウナコトデ、已ムヲ得ズ國策ノ犠牲トデモ申シマセウカ、サウ云フ次第ニナツテ居リマスガ、此問題ハ此間豫算委員會ニ於テ中村嘉壽サシデアリマシタカ、御尋ニナリマシタヤウニ、日本政府カラ救濟ヲ受ケヤウト云フノデハナク、當時被害ヲ受ケタ狀況ハ詳細ニ政府ニ御分リデアリマス、ソレカラ金額等モ當業者カラ皆申上ゲテ居ル、サウ云フ次第デアリマスカラ、唯、問題ハ此度國交ガ恢復サレタノデアリマスカラ、適當ノ時ニ於テ露西亞側ニ對シテ賠償ヲシテ戴キタイ、サウシテドウカ之ヲ早く解決シテ

戴キタイ、之ガ當業者ノ御願シタイト云フ希望デアリマス、就キマシテハドウカ之ニ對シテ適當ノ時ニ於テ御交渉ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、御交渉下サル御考デアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、此點モ併セテ御尋シタイト思ヒマス

○山川政府委員 今ノ佐々木君ノ御話ハ全然新ナナ問題トシテ、政府カラ救恤トカ、賠償等ヲ受ケルト云フ御趣意デナクシテ、露西亞政府ヲシテ賠償セシムル爲ニ、政府ガ何等カノ處置ヲ取ツテ吳レナイカト云フ御希望ト拜承致シマシタ、此問題ハ今ノヤウナ御話デアリマスレバ、能ク考慮シテ、是ハ御承知ノ通りニ日露條約ニ依リマシテ、日本臣民ノ相手ハ一方ノ國ニ對スル、政府ニ對スル請求權ニ付テハ、將來ノ話合ニ讓ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、唯、其問題ハ將來ノ話合ニ讓ルト云フコトニナレバ、餘程解決ガ困難ナ點モアリハセヌカト思フ、ト云フノハ露西亞ハ前ノ時代ノコトハ總テ否認スルト云ッタヤウナコトデ、各國共露西亞ニ對シテハサウ云フ關係ガアリマス、愈々之ガ露西亞政府ニ對シテ相當ニ主張スベキモノデアルト云フコトデアリマスレバ、其話合ノ時ニ無論入レルベキモノデアラウト思ヒマス、唯、今私トシマシテ、直グ此所デ此問題ハ露國ニ請求スル積リデアアルカドウカト云フコトハ、直グ御即答ハ出來マセヌ、能ク考慮

シマシテ追テ御答辯ヲ致シマス

○湯淺凡平君 私遅レテ參リマシタガ、永田君ノ質問ニ對シテ、政府ヨリ極メテ同情アル御答辯ヲ與ヘラレマシタコトハ感謝致シマスガ、ソレニ關聯シテ私ハ唯、事實ダケ御尋シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ此被害ヲ受ケマシタ、損害ヲ蒙リマシタ其當時ノ所謂日本ノ漁業者、其漁業者ノ中デ一番大ナルモノガ、所謂日露漁業株式會社、ソレニ續クモノガ只今尋ネテ居リマスル個人漁業者デアアル、其割合ガ事業ノ上カラ申シマスルト、日露漁業會社ノ六分ニ對シテ、他ノ個人ガ四分ヲ占メテ居ルト云フ事實ヲ御認メ下サイマスデゴザイマセウカ、如何デアリマセウカ、第二ニハ其六分ノ事業ヲ營ンデ居ッタ日露漁業株式會社ハ、其當時事業甚ダ振ハズ、會社ノ基礎モ寧ロ動搖シテ居ッタ、之ニ反シテ個人ノ漁業家ハ相當ニ活躍ヲ致シテ居ッタト云フ事實ハ、御認メニナルノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、第三ニハ此損害ヲ受ケマシタニ付テ一般ガ非常ナル窮境ニ陷ッタ、其際ニ於テ日露漁業會社ハ朝鮮銀行ヨリ千三百萬圓ノ低資ノ融通ヲ受ケマシテ、一方ノ個人ノ方ハ日露實業會社ト申シマスガ、ソレヨリ間接ニ僅ニ十萬圓ノ資金ノ融通ヲ受ケタ、是ハ甚ダシク不公平デハナカラウカ、尤モ是ハ債權者ト債務者トノ關係デアリマスルカラ、一概ニ左様ニ申スコトハ出來

マスマイガ、少クトモ此朝鮮銀行ガ此
日露漁業株式會社而モ事業ノ極メテ不
振ナル會社ニ向ッテ千三百萬圓ト云フ
ガ如キ莫大ナル資金ノ融通ヲシタト云
フコトハ、之ニハ相當直接カ若クハ間
接ニ政府ノ助言ノアツタモノデハナイ
カドウカ、此事ヲ御伺シタイ、サウシテ
今日ニ於キマシテハ、會テ氣息奄々タ
リシ日露漁業株式會社ハ、此廣大ナル
恩惠ニ依リマシテ、將ニ崩壊セントシ
タ運命ヲ取返シテ、寧ロ今日ハ非常ナ
利益ノ地位ニ立ッテ營業ヲ進メテ居ル、
之ニ反シテ其當時極メラ冷カナル待遇
ヲ受ケマシタ彼ノ個人營業者ハ、既ニ
流離困憊再ビ起ツ能ハザル境遇ニ立ッ
テ居ルト云フ、是等ノ事實ヲ御認ニナ
ルノデアリマセウカ、如何デアリマセ
ウカ、御尋致シマス

○山川政府委員 今詳細ナル事實ニ
互ッテノ政府ノ見込ノ御尋デゴザイマ
スガ、吾々内容ノコトニ付キマシテハ
能ク承知致シマセヌ、ソレハ能ク調べ
タ上デ申上ゲタイト思ヒマス、若シ誤ッ
テ居ッテハイケナイト思ヒマスカラ
○湯淺凡平君 事實ヲ調べルト云フ御
答辯デアリマスガ、成ベク御調べヲ願
ヒマシテ、此事實ヲ調べテ戴クコトガ、
之ニ對スル何等カノ方法ヲ施シテ貰ヒ
タイト云フ上ニ付テハ、極メテ有力ノ
材料ト思ヒマスカラ、成ベク早ク御調
ベ下サイマシテ、サウシテ永田君ノ質
問ニ御答ニナリマシタ通り、何卒今後

ニ於テ極メテ同情アル御考慮ヲ煩ハシ
タイト云フコトヲ希望致シマス、私ノ
是等ノ要求ヲ爲ス者ヨリ聽ク所ニ依レ
バ、必シモ佐々木君ノ要求サレタルガ
如ク此際進シテ露國ニ對シテ其損害ヲ
賠償シテ貰フト云フコトモ、是モ洵ニ
結構ナ事デアリマス、直接ニ政府ヨリ
何トカ此救済ノ方法ヲ講ジテ貰フコト
モ中ニ結構ノコトデアリマス、併ナガ
ラ若シ此二ツガ不可能デアルカ、若ク
ハ非常ナ歲月ヲ要スルコトデアラナラ
バ、實ハ今日ヲ支ヘルコトノ出來ナイ
悲惨ノ現狀ニ居リマスルカラ、茲ニ言
フ「後日ノ百兩ヨリハ今日ノ一圓」ト云
フコトデ、根本的ノ解決ヲ待ツヨリモ
寧ロ當面ノ問題トシテ、政府ヨリ直接
ノ救済デナクトモ、間接ノ救済ニ於テ
デモ厭ハヌ、要スルニ今日只今ノ窮狀
ヲ救助シテ戴キタイト云フコトヲ希望
シテ居ルト云フコトヲ、併セテ申上ゲ
テ置キタイト思ヒマス

○永田委員 此問題ハ大分各方面カラ
御話ガ出テ居ルノデアリマスカラ、一
寸十分バカリ速記ヲ止メテ政府ノ方ト
懇談ヲ願ヒタイト思ヒマスガ如何デセ
ウカ
○田中委員長 ソレデハ暫ク速記ヲ中
止シテ懇談ヲ致シマス
〔速記中止〕
○田中委員長 ソレデハ是カラ始メマ
ス、中村政務次官
○中府政府委員 此前柏田君ノ御質問

ノ中、滿鐵附屬地ノ在留禁止適用ノ問
題ニ付テ、此際御答ヲ致シテ置キマス、
能ク調べマシタ所、アレハ適用ガナイ
コトニナッテ居ル、此處ニハ關東州ノ在
留者取締規則ト云フノガアル、之ヲア
ノ方面ニ準用スルコトニナッテ居ル、ソ
レカラモウ一ツ大正十三年中ニ在留ヲ
禁止シタ統計ハ七十六人、其中安寧秩
序防害ガ七十五、風俗壞亂ガ一ツ、合計
七十六、其中内地人ガ十九、朝鮮人ガ
二十三人、臺灣人ガ三十四人、ソレカラ
處分命令取消無シト云フコトニナッテ
居リマス、モウ一ツハ此法律適用ノ濫
用ヲ防グ爲ニ、政府ニ請訓デモサセテ
居ルカドウカ、サウ云フ方法デモ拂ッタ
ラドウカト云フコト、之ニ付テ考ヘテ
來テ貰ヒタイト云フ御話デアリマシ
タ、是ハドウモ實行スルコトガ此目的
ノ爲ニ宜クナカラウト思フ、之ヲ實行
スル場合ハ急速ニヤル必要ガアル、一
案ヲ立テ、外務省トカ北京ヘ請訓ス
ルト云フコトニ致シマス、中々時ガ
取レル、機宜ノ處理ヲ執ルニ甚ダ不便
ナコトガアラウト思フ、故ニ此濫用ヲ
防グニハソレ以外ノ方法デ、結局領事
ニ對シテ濫用シテナラヌ、慎重ニシナ
ケレバナラヌト云フヨリ外アルマイト
思フ、領事ニ全體ノ心得トシテ濫用ス
ベキモノデハナイ、又今日ノ領事ハ二
十年前ノ領事ト違ッテ、其邊ノ心得ニ於
テモ餘リ懸念スル程ノコトハナイト思
ハレル、併シ外務省トシテハ濫用ニナ

ラヌヤウニ十分注意ハ致シテ居リマス
○永田委員 只今政務次官ハ濫用シナ
イト云フ御話、洵ニ結構デアリマス、私
モサウ云フコトハ無イト思ヒマスガ、
急イデヤラナケレバナラヌト云フトキ
ニ、矢張微罪、風俗壞亂、安寧秩序ヲ妨害
スル、斯ウ云フ題目ヲ分ケテアリマス
レドモ、實際ニ具體的事實ニ當ルト、中
中小サイ問題デナイ場合ガアル、隨分大
キナ問題ヲ誠ニ輕ク取扱フ、在留禁止ヲ
シタ爲ニ數十萬圓ノ資産ヲ其所ニ棄置
イテ來ナケレバナラヌト云フヤウニ實際
ノ事實ニ當リマス、隨分重大ナ結果ヲ惹
起ス場合ガ少クナイノデアリマスカラ、
ドウモ此取扱ヲモウ少シ丁寧ニスルコ
トガ極メテ必要ナコトデアアル、只今御
話ノ滿鐵附屬地ニ適用ガナイ關東州ノ
府令ヲ適用シテ居ル、此清國ニ在ケル
在留禁止ノ法律ガアル爲ニ、矢張之ヲ
準用シテ關東州アタリニモサウ云フ法
律ガアル譯デアリマス、先年彼地ノ經
濟上ノ問題トシテ有名ナ金銀建値爭ヒ
ガ起キタトキニ、私ハ之ニ反對シテ銀
デナケレバナラヌト言ッタガ、政府ハ金
デナケレバナラヌト主張シタコトガア
ツテ、私モ危ク在留禁止ヲヤラレサウ
ニナッテ居ッテ、毎日巡查ガ四五名來テ、
前後ニ喰付イテ殆ド自由意思ヲ拘束
サレテ、隨分ヒドイ目ニ遭ッタ、私ハ
今迄泥棒ト懇意ガナカッタカラ、禁止
ニハナラナカッタガ、中々山縣サンハ亂
暴ナコトヲサレテ危ナカッタ、是等モ在

留禁止ノ法律ガアルカラ、之ヲ準用シテ斯ウ云フコトニナツタノデアル、詰リ其時ノ政府ノ意思次第デ、隨分亂暴ニ適用ガ出來ル、領事デモ隨分ヒドイト言ハレテ居ル、奉天ニ於ケル或事件ノ如キハ、領事ノ自由意思デ何百萬圓、何十萬圓ト云フ事件ガ自由ニ處斷サレテ居ル、斯ウ云フ事ハ事柄ノ善惡ハ何レニシテモ、實際ノ影響ハ中々多イ、領事一人ノ權限デアルコトハ、少シ目ニ餘ツテ居ルト云フヤウナ具體的ノ事實モ澤山アルノデアリマスカラ、モウ少シ之ヲ鄭重ニ取扱フト云フコトニ付テ、是ハ強テ爭ハナイデモ宜イガ、外務省ノ意思モ鄭重ニスルト云フ御意思デアレバ、其方法ハ一生懸命ニヤカマシク言ウテヤルト云フコトデナク、モウ少シ具體的ニ形式ノ上ニ備ツタ扱方ガ欲シイと思ヒマシテ、更ニ其點ヲ多少ノ事實ヲ述ベテ希望シテ置キマス、私ハ今日ハ此儘置クコトニ賛成シテ置キマスカラ、其點ハ更ニ一層御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長峰委員 私ハ政務次官ニ御尋ネ致シマス、過日司法處分デアル所モ、此法ニ依ル方ガ至テ簡便デアル、且ツ便利デアルト云フコトヲ仰セラレタヤウニ伺ツテ居リマス、私共ソレハ諒解ニ苦シム點デアリマス、在留ヲ禁止スルト云フコトハ重大ナ問題デアルケレドモ、簡易デアルトカ、便利デアルトカ云フコトデ以テ處分ナサルト云フコトハ、

所謂此法律ガ常ニ輕シク取扱ハレテ居ルモノデハナイカト疑ヒマス、私共只今件數ヲ承リマシタガ、割合ニ少イヤウデアリマスガ、此事ハ領事館ノ自由裁量デ取計ヒニナツテ居ッタトスレバ、マダ數ハ非常ニ多イト考ヘマス、實際ヲ申シマスツウ云フコトデアリマシテ、ドウモ居留民ガ領事館ヘ行ッテ陳情書若クハ色々嘆願ヲ致シテ其罪ヲ通レルコトノ方ガ多イ、領事館ノ差圖ニ委シテ置ケバ、其件數ガ非常ニ多イト考ヘマス、一寸其簡便ト云フコト、便利ト云フコトニ付テ御尋ネ致シマス

○中村政府委員 司法處分ニ依ルト、現在ノ制度ノ範圍ニ於テハ取締ノ目的ヲ十分ニ達シ難イノデアル、ソレハドウ云フ譯デアルカト云フト、必ズシモ刑事的ノ犯罪ガナクテモ、何トカ其人間ヲ取締ラナケレバナラヌ場合ガ幾ラモアル、ソレカラモウ一ツハ現在ノ法律ノ取締法以外ノ法律ノ許ス範圍ニ於テ、例ノ領事館令ノ中デ色々取締ラシテ居リマスガ、是等ハ極ク輕微ノモノデ、科料カ何カデ取締ルト云フコトデアアル、サウ云フ人間ガ其處ニアッテハ、ドウモ他ノ全體ノ日本人ノ利益ノ爲ニ宜シクナイコトガアル、ソレデ司法處分デモヤラズ、又領事職務規則ニモ依ラズシテ、特ニ斯ウ云フ取締法ガ必要デアアル、濫用ニ對スル點ノ非難ハ前ニモ多少アリマシタケレドモ、近來ハ其弊モ殆ドナクナッタ次第デ、此法律ヲ存

續シテ行キマスコトハ、將來ノ爲ニモ非常ニ必要ダと思ッテ居リマス

○長峰委員 其邊ハ分ッテ居リマスガ、唯、其方ガ簡便デアアル、便利デアルト云フコトヲ仰セラレルコトガ、私共ニハ分ラヌデアリマシテ、對支處分對韓處分ナルモノハ、事實上相當効果ガアルトハ存ジマスガ、併ナガラ其取扱上其方ガ便利デアアルカラ、對支處分ヲヤルノデアルト云フコトデハ、如何ニモ居留地ノ權利ヲソコデ輕ク見ルヤウナ政府ノ考ガアルヤウニ思ハレマス、併シ其方ガ安寧ヲ保ツ上ニ於テ便利デアルト云フコトナラバ能ク分リマス

○中村政府委員 簡易トカ便利トカ云フコトヲ、此前説明ノ時ニ申シマシタガ、是ハ言葉ノ使ヒ方ガ惡カッタノデアリマス、唯、簡易トカ便利トカ云フ趣旨デ法律ハ出來テ居ルノデナイ、畢竟スルニ法律制定ノ根本的理由ハ、支那ニ於ケル日本人全體ノ利益ヲ保護スル上カラ起ッテ來ルノデアリマス

○長峰委員 私共此點ハ神田君カラ述べラレタヤウニ、決シテ絕對反對デモ何デモナイ、是ハ一寸矢張治安維持法ノヤウニ考ヘテ居リマス、之ニモ私ハ賛成シテ居リマスガ、矢張アレモ政府ガ共同ノ力ヲ抑ヘルヤウナモノデアアル、一體退支處分ハ常ニ在外ノ官吏、アレガ地方官デアレバ宜イト思ヒマス、地方官ハ縣令ナドガアッテ、ソレヲ刺戟スルモノガアル、又鞭撻スル機關モア

ル、又増長スレバ頭ヲ抑ヘル機關モアリマスガ、在外ノ領事ハ一寸殿様ジミタ態度ヲ取ッテ居ル傾向ガアル、ソレニ強イ斯ウ云フ法ヲ持タセルコトハドウカト云フ感ガ常ニ致シマス、ソレデ是ハ本當ニ惡イ者ヲ支那カラデモ朝鮮カラデモ取除クト云フコトニ付テハ、私ハ政府ノ仰シヤフタ、簡便デアアル便利デアルト云フ極端ナ言葉ヲ使ウテモ宜シイト思ヒマスガ、ドウモ私ハサウ云フ權力ヲ持ッテ居ルト云フコトハ如何ナルモノデアアルカ、今日ノ時勢ニ於テハサウ云フコトガ十分諒解ガ取レナイノデアリマス、ソコデサウ輕ク此法ヲ御取扱ヒニナルコトヲ御改メニナルコトハ、外務省ノ本省カラサウ云フ氣分ニナラヌト、末僚ノ領事ニ至ッテハ一層此法ノ精神ヲ了解セザルモノト考ヘテ居リマスガ、其邊ハ如何デスカ

○中村政府委員 先程濫用防止ニ付テ永田君ノ御質問ノアリマシタトキニ、一寸御答ヘ致シテ置キマシタガ、只今ノ所デハ具體的ニドウシタラ宜イト云フ名案モ持チマセヌ、併シ尙ホ十分考慮ヲ遂グルコトニ致シマス

○神田委員 領事館トシテハ北京ノ公使館ニ電報デ聞クコトハ、事實ニ於テ決シテムヅカシイ問題デハナイト思ヒマス、要スルニ私ハ此法ヲ精神上保持シテ置クト同時ニ、皆様ノ憂慮シテ居ルト同ジ憂慮ハ度々經驗シテ居ルノデアリマス、其點カラ言フト、天津ノ領事

ガ或ル人ニ退支處分ヲシヤウト云フ場
合ニ、北京ニ電報ヲ打ッテ、北京ノ公使
ノ許可ヲ得ルコトハ困難ナコトデハナ
イ、厦門ニシテモサウデアル、電報ノナ
イ飛脚ノ時代ナラバイザ知ラズ、今日
ニ於テ退支處分ハ十五日間ノ期限モア
ルカラ、斯ウ云フ點ニ於テ正式ニ法律
ヲ變ヘルト云フコトハナクモ、其位
ノコトハ政府デ出来ヌコトハナイト思
ヒマスガ、其邊ノコトヲ御伺ヒ致シタ
イト思ヒマス

○中村政府委員 電報デ請訓シテ、直
ニ公使館ナリ外務省カラ指令ガ出来ル
事柄ナラバ、無論ソレデ宜イノデアリ
マス、他ノ請訓ヲ要スル事柄ハ皆ソレ
デヤツテ居ル、所ガ此事件ハ其地方ノ者
シカ知ラナイ、本省ヤ公使館デ先ヅ以
テ其地方ノ狀況ヲ書面カ何カデ聞イ
テ、其上デ善イカ惡イカラ決定スル、ソ
レニ付テモ其地方ノコトヲ知ラヌデハ
判斷ニ苦シムノデアリマスカラ、請訓
シテモ之ヲ判斷スベキ材料ガ請訓スル
側ニナイ、ソレ故電訓デ處分スル譯ニ
モ行カヌト思ヒマス

○神田委員 私共居留地ニ居リマシタ
者カラ言フト、禁止命令等ヲ發スル場
合ニハ、必ズハ相當地方ノ問題ニナッ
テ居リマス、領事館デ愈々禁止命令ヲ出
サウト云フトキニハ、居留地ノ有志ガ
行ッテ何遍カ談判シナケレバナラヌ、其
結果ガ禁止ニナルカ禁止ニナラザルカ
ノ界目ヲ成シテ居ル、斯ウ云フ點ハ十

分御考慮ヲ願ヒタイ
○中村政府委員 承知致シマシタ、共
ニ考慮スルコトニ致シマス
○柏田委員 此前ニ在留ト云フ意味ハ
其所ニ居ル者ト云フ御答辯デアリマシ
タガ、居ル者ト云フコトハ非常ニ曖昧
デアリマス、法律上ノ用語トシテハ甚
ダ不明瞭デアル、此點ニ付テ最近一ツ
ノ問題ガ起キテ居リマス、ソレハ撫順
ニ於テ露天掘ノ炭坑ガアリマスカ、之
ガ近來市街地ニマデ這入ラナケレバナ
ラヌコトニナツテ、市民ガ非常ニ損害ヲ
被ムルト云フノデ心配シテ居ル、滿鐵
デハソレヲ考慮シテ確カ三十八萬圓ト
思ヒマスガ、ソレヲ市民ニ分配スルト
云フコトニナツテ、話ガ著イタヤウデア
ルガ、其分配ノ方法ガ公平デナカッタト
云フノデ、撫順ニ於テ色々ナ問題ガ起
キ、其際日本ノ人デ東京ノ芝區南佐久
間町ニ住ンデ居ル中村銀作ト云フ人ガ
演説ヲシタト云フノガ當局ノ忌諱ニ觸
レテ、退支處分ヲ受ケルコトニナツタ、
之ニ不服デ異議ヲ申立テタノデアリマ
ス、是ハ旅行者デ東京ニ住居シテ居ル
ガ、其附近ニ土地ヲ持ッテ居ル關係上、
數年ニ一度位宛ニ支那ニ來テ居リマス
ガ、ソレニ退支處分ヲヤツテ居ル、所ガ撫
順ハ御承知ノ通り滿鐵ノ附屬地ニ屬ス
ルモノデアリマスカラシテ、適用上ニ
付テモ爭ヒガアルガ、是ハ唯、在留ト云
フノデハ意味ガ不徹底デアル、單ニ居
ル者ト云フコトニナレバ、支那ノ沿岸

ノ「ネビゲーシヨン」、航海ノ權ヲ持ッテ
内地ノ河流ヲ航行シテ居ル船舶ノ船員
モ處分サレルコトニナリマスカ、最後
ニモウ一ツ強ク當局ノ御意見ヲ伺ヒタ
イノハ、段々領事裁判法ノ不完全デア
ルト云フコトガ認メラレテ居リマス、
元々是ハ歐米人ガ東洋ニ來テ、特別ノ
權利ヲ持ッテ、一大障壁ヲ構ヘテ東洋人
ヲ壓迫シヤウト云フコトガ、是等ノ根
本デアラウト思ヒマスガ、ソレニ依ッテ
吾々ハ支那ニ治外法權ヲ持ッテ居リマ
スカ、此咄嗟ノ間ニ拵ヘタ法令ガ累ヲ
爲シテ、今日在留民ノ持ッテ居ル權利ニ
モ色々ナ制限ヲ加ヘテ居ルヤウニ思ヒ
マス、現ニ二十九年ノ法律ノ如キモ、法
律ソレ自體カラ見マスルナラバ、非常
ニ古イ形式デアツテ、今日ノ時代ニ斯ウ
云フ行政處分ヲ以テ退支處分ヲシテシ
マフト云フコトハ如何デアラウカ、近
代ニ於ケル人權ノ擁護、個人ノ權利ノ
擁護ト云フ意味カラ見レバ、是ハ適當
デハナイ、地方ノ事情上、司法處分ニ依
ッテハ時期ヲ失スルト云フコトデア
ルガ、苟モ人ノ權利ニ制限ヲ加ヘ、之ヲ處
罰スル場合ニ於テ、時期ヲ失スルトカ、
或ハドウトカ云フヤウナ考ヲ以テ、苟
モ唯、一人ノ人デモ、是デ法律上ノ制裁
ヲ加ヘルト云フコトハ、慎ムベキコト
デアルト思フノデアリマス、最近ニ於
テハ領事裁判モ甚ダ發達シテ來マシテ
完全ニナリ、三十二年ノ法律第七十號
ノ改正案等ヲ見マシテモ、權利ガ擴張

サレ、制度ガ確實ニナツテ來タヤウニ考
ヘテ居リマス、サウ云フ風ニ一方ニ領
事裁判制度ガ段々完備シテ來タノニ、
時代ニ逆流シテ斯ウ云フ法律ヲ存置セ
シメテ置クト云フコトハ、私ハ文明國
トシテ恥ヅベキコトデハナイカト云フ
考ヲ持ッテ居ル、尤モ支那ノコトハ純理
ノミデ進ムト云フコトハドウウカト考ヘ
テ居リマス、從來ノ經驗ニ徴シテ適宜
ノ處置ヲ領事官ニ委セルト云フコトモ
必要デアリマセウケレドモ、從來濫用
ガ多イ、隨テ外務當局ト致シマシテモ、
屢々訓令ヲ發シテ居ル、通達ヲシテ居
ル、實際ノ處分ガ違法デアル、サウシテ
法ノ精神ヲ曲解シテ居ル場合ニ於テ、
斯ウ云フ訓達ヲ發シテ居ルノデアリマ
ス、是等ノ事實ニ徴シマシテモ、事理明
瞭デアル、然ルニ尙且ツ存シテ置イテ、
サウシテ何所マデモ此權限ヲ領事ニ持
タセテ置クト云フコトハ、私ハ決シテ
大陸發展上策ノ得タルモノデナイト思
フ、ドウシテモ是ハ司法處分ノ公正ナ
ル裁判ニ依ッテ、處分スベキモノデア
ルト思フノデアリマス、サウ云フ意味カ
ラ私ハ提案シタノデアリマシテ、何モ
是ハ無賴ノ徒ヲ益々支那ニ殖スト云フ
意味デハナイノデアリマス、之ニ代ハ
ルベキモノヲ以テ、適當ニ處置スベキ
ガ至當デアル、斯ウ云フ考ヲ以テ出シ
タノデアリマス、實ハ外務省ニ伺ッタト
キ、清國ニ對スル責任云々ヲ以テ、存置
ノ理由トシテ居ッタヤウデアリマスガ、

サウ云フコトハ非常ニ薄弱ナル理由デアリマシテ、ソノナコトデ斯ウ云フ法律ヲ存置セシメテ置クベキモノデナイト私ハ思フ、特ニ一言申上ゲタイノハ、一體此領事裁判制度ト云フモノハ、私ハ非常ニ筋ガ立ッテ居ラヌト考ヘテ居ル、元々是ハ西洋人ガ野蠻國ニ對シテ拵ヘタモノデアッテ、純理ノ上カラ是ハ貫徹シテ居ラヌト私ハ考ヘテ居ル、今ヤ東洋民族ガ各方面ニ向ッテ勃興シ、西洋文明ニ對シテ對立セントスル勢ノ有ルトキニ、西洋人ガ斯ウ云フモノヲ以テ東洋人種ニ臨ム彼等ノ特權トシテヤツタル裁判制度ニ根據シタル惡イ主義ニ出タモノヲ、吾々ガ何處マデモ固執スル必要ハナイト考ヘテ居ル、私ハ元來ノ根本カラ申セバ、私ハ羅馬法ニ根據シタ西洋ノ法律ニ對立シナケレバナラヌ、吾々東洋民族ハ固有ノ民族性ニ基イタ法律ヲ以テ對立出來ルモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ考カラ私ハ根本カラ之ニ反對スルノデアリマス、是等ノ點ニ付テ當局ニ伺ヒマス

○中村政府委員 只今ノハ大部分御意見ヲ述ベラレタモノト伺ヒマシタ、デ在留ニ關スル意味ニ於キマシテ、御質問ガアツタヤウデアリマス、私ハ在留ト云フノハ廣キ意味ニ取ッテ居リマス、ソレカラ撫順デシタカ、中村トカ云フノハ——退去ヲ命ゼラレタデスガ、旅行ノ關係ニ付キマシテハ、此前ニ柏田君ノ御質問ニ答ヘタ通り、若シ中村ト云フ人ガ旅行ノ際ニ退去ヲ命ゼラレタナラバ、此前ノ説明ハ殊ニ適當ダラウト思フ、旅行者トシテ其所ノ治安ヲ害スル、其人ノ經歷其他ノ關係カラ、其場所ニ依ッテ治安ヲ害スルモノ、風俗ヲ壞亂スルモノト十分ノ根據ガアル場合ニハ、矢張此法律ノ適用ヲ受クベキモノデアアル、斯ウ解シテ居リマス、サウシテ船ノ中ハ是ハ私ハ別ダト思ヒマス、船ノ中ノ取締ハ船長ガ主トシテ其任ニ當ツテヤルモノデス、支那ノ領事裁判權ヲ持ッテ居ル所ハ領事ガ之ヲ裁判スルガ、船ノ中ダケデ其人間ガヤツタコトデアルナラバ、別ニ陸上ノ風俗壞亂トカ安寧ヲ害スルトカ云フコトガ起リ得ナイノデアリマスカラ、船中ノ場合ニハ特別ノ取締ノ方法ガアルモノト思ヒマス、ソレカラ只今ノ御意見ノ中ニ、濫用ノ事實ヲ認メテ居リナガラ、本法ノ存續ヲ許スノハ甚ダ面白クナイト云フ御説ガアリマシタガ、濫用ノ事實ハ認メテ居ナイノデアリマス、二十年モ前ニサウ云フ濫用シタト云フ非難ノ存在ハ認メテ居ルノデスガ、近年ニ至リマシテハサウ云フ濫用ノ事實ガナイモノト思ッテ居リマス、唯、私共ノ是マデ申上ゲタノハ、濫用ノ懸念ガアル、又濫用シヤシナイカト云フ虞ガ非常ニ多イモノデスカラ、外務省ニ於キマシテハ此濫用ノ弊ニ陷ラヌヤウニ、斯カル弊害ノ起ラナイヤウニ十分注意ヲシテ、領事

ニ常ニ訓令ヲ出シテ居ルト、斯ウ云フ意味デ是迄申上ゲタノデアアル
○柏田委員 モウ一寸デ宜シウゴザイマス、ソレハ確ニ濫用ノ事實ヲ御認メナッテ居ルト云フコトハ、大正三年ノ二月二十四日、外務大臣カラ南滿鐵道沿線ノ各領事宛ニ通達ヲシテ居リマス、之ヲ御覽ニナルト濫用ノ事實ヲ認メテ居ル、ソレニ基イテ通達ヲシテ居ル、ソレカラ大正元年ノ十月二十一日ニ、大臣カラ各領事ニ宛テ、出シテ居リマス、是ハ賭博犯ニ致シテ在留禁止ヲ命ジタノデアリマス、是ハ明ニ賭博罪ヲ以テ罰スベキモノデアリマス、在留禁止ト云フコトハ罷リナラヌト云フノガ出テ居リマス、斯ウ云フ實例モ多々アルカラシテ、注意シロト云フ訓令ガ出テ居ル、左様ナ譯デアリマシテ、外務當局ニ於テモ其分ハ十分御諒承ノコト、思ヒマス
○神田委員 私ガ先程柏田君ニ質問シタイト申シテ置キマシタガ、是デ一切分ッテ居リマスカラ、質問ヲ是デ打切りマス、ソレダケヲ申上ゲテ置キマス
○田中委員長 質問ヲ是デ打切りマシテ、態度ノ決定ハ次回ニスルコトニ致シマス
「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○田中委員長 ソレデハ次ニ此建議案ニ移リマス、海外移民政策確立ニ關スル建議案、提出者デアアル今里準太郎君カラ、提案ノ趣旨ヲ——今里君一寸御

相談致シマスガ、此提案ノ趣旨ハ出來ルダケ一ツ簡潔ニ願ヒマス、ソレデ時間ヲ十分質問ニ供セラル、ヤウニ願ヒマス
○今里準太郎君 私ノ説明ノ中ニ尙ホ不十分ノ點ガアリマシタラ、ソレニ對シテ質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ建議案ハ政府ハ速ニ海外移民政策ヲ確立即行シテ戴キタイト云フノデアリマス、是ハ私ガ今更茲ニ説明スルマデモナク、皆樣能ク御承知ノコト、思ヒマスガ、唯、極ク簡單ニ一言述ベサセテ戴キタイト思ヒマス、我國民ノ現在海外ニ居ル數ハ約百十萬人デアリマス、其中ニハ約五十萬ノ朝鮮人ガ含メテ居ルカラ、眞ノ我日本人ノ數ハ僅ニ六十萬人デアリマス、殊ニ六十萬人ノ中ノ十六萬人ハ支那ニ居リマス、サウシテ北米ニ十三萬、布哇ニ約二十萬人、伯刺西爾ニ三萬人ト云フ程度デアリマシテ、此數ヲ見テ見マスルト、明治初年國ヲ開キマシテカラ、殆ド日本人トシテ海外ニ發展シテ居ルモノハナイト言ッテモ宜イ位デアリマス、約六十萬人ノ中ニハアリマスガ、其中ニハ生レタ者モアリマスカラ、一年ニ一萬人位出タカ出ナイヤウナ狀態デアリマス、我日本ト能ク事情ヲ同ジクシテ居ル伊太利ノ狀態ヲ見テ見マスルト、五十年間ニ三百六十萬人ノ人ガ出テ居ル、ソレデ最近デハ年ニ五十萬近クノ移民ガ出テ居ル、殊ニ最近此事業ニ努力シテ居ル

ヤウデアリマスガ、我國トカ伊太利ノヤウニ小サイ國デ、人口増加ノ著シイ國デハ、當然努力シナイケレバナラヌト思ヒマス、然ルニ我國ハ此方面ニハ官民共ニ熱誠努力ヲ缺イテ居ルヤウナ感ガ致スノデアリマス、其意味カラ昨年モ建議ヲ致シ、本年モ亦重ネテ茲ニ建議ヲ出シテ、諸君ノ御協賛ヲ願フ次第デアリマス、政府ニ建議シ又此方面ニ一層ノ努力ヲ希望スルモノデアリマス、私ハ提出ノ説明トシテハ是位ニ止メマシテ、此際先般モ一寸申上ゲマシタガ、此移民政策ト云フコトニ付テ、私見ヲ四五述ベマシテ、ソレニ對スル政府ノ御意見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、私ハ第一ニハ此際政府ハ移民ニ關スル方針ヲ定メナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスガ、現在ノ移民政策ハ伯刺西爾ノ方ニ非常ニ偏重シテ居リマシテ、他ノ事ヲ忘レテ居リハセヌカト思ヒマス、是ハ昨日モ貴族院デ政府カラ色々西伯利ノ事ニ付テノ御答辯ガアツタコトヲ拜見致シマシタガ、私ハ此際日本トシテハ西伯利及滿洲、南支那、南米、南洋等各方面ニ互ル詳細ナル調査ヲ爲シ、而シテ是等ニ對スル確乎タル方針ヲ、ソレノ其土地ノ事情ノ異タルガ如クニ、各々異リタル政策ヲ確立スル必要ガアルト思ヒマス、ソレカラ次ハ多少今日マデ忍ンデ來テ居ル移民ニ關スル條約ヲ、出來ルダケ結ンダ方ガ宜イト思ヒマス、私ハ移民ハ關スル條約

ヲ各國ニ一日早ク之ヲ締結スレバ、一日早イダケ利益デアル、此點ニ付テハ聞ク所ニ依レバ亞米利加邊リノ移民ノ關係モ、今日デハ早ク向フノ大使館デハ適當ナ條約ヲ締結スル方ガ有利ダト云フコトヲ本國ニ申出テ居ルサウデス、日本ノ政府デハ多少ノ不利、不利益ヲ見テ構ハナイガ、國民ノ反對ヲ招クヤウデハヤラナイ、其爲ニ内閣ノ壽命ニ關スルヤウナコトデハイカス、内閣ソレ自身ノ事ヲ考ヘルカラ最近ノヤウナ結果ヲ見ルノデハナイカ、小サナル不利、小サナル事ヲ主ニスル爲メ、大ナ不利ヲ招クノデハナイカト思ヒマス、是等ハ今後各方面ニ互ッテ私ハ考ヘナケレバナラヌコト、思フ、ソレハ頗ル困難デアリマスガ、此方面ニ努力スルコトハ最も必要ナコトデハナイカト考ヘルノデアリマス、ソレカラ第三ニハ是非統一シタ移民機關ヲ創設シナケレバナラヌ、現在ノ狀態デハ中々此方面ガ旨ク行カナイノハ當然デアリマス、是ハ外務省ノ片手間ニヤッテ居ルカラデ、伊太利邊リノ拜見致シマスルト、全ク移民局ノ活動ニ依ッテ現在二十萬カラノ移民ヲ出スヤウナコトニナッテ居ル、是ハ外務省カラ戴イタ報告書ニ載ッテ居リマス、是ハ日本トシテ非常ニ重大ナル所デアルト思ヒマスガ、ソレヲ外務省ノ方ガ片手間ノ仕事トシテヤッテ居ルコトハ頗ル遺憾ト思ッテ居リマス、是ハ是非特殊ノ機關ヲ設ケテ、

海外ニモソレノ重要ノ所ニ移民官ト云フモノヲ特派シテ、サウシテ内外應ジテヤルベキモノト思ッテ居リマス、ソレカラ第四ハ私ハ海外移民ニ關スル保護獎勵法ヲ改正スル、是ハ二ツノ意味ヲ含ンデ居リマスガ、海外移民ニ對スル各種ノ獎勵費、保護費ト云フモノヲ定メ、モウ一ツハ財政上ノ豫算ヲ増額スル事、此二ツノ意味ヲ持ッテ居リマス、是ハ私ノ申マデモナク歐洲各國デハソレノ巨額ノ獎勵費ヲ出シテ居ル例モアルノデアリマス、殊ニ伊太利デハ多クノ金ヲ出シテ居ルノデアリマス、然ルニ日本デハ僅ニ十何萬圓シカ出シテ居ラナイノデアリマス、是ハ私ハ是非來年度カラ此豫算ヲ相當ニ増額シテ戴キタイ、同時ニ茲ニ海外移民ノ保護獎勵ト云フヤウナコトハ豫メ定メテ、何處ノ國ニ行ク者ニハ幾ラ補助スル、或ハ南米ニ行ク者ハ幾ラト云フヤウニ定メタモノヲ發表スルコトナドハ、大ニ移民獎勵ニナルト思ヒマス、兎ニ角此方面ニ付テハ徹底的ノ處置ヲ願ヒタイ、是ハ私ノ眼目デアリマス、ソレカラ第五ハ私ハ矢張政府ノ保護獎勵バカリデハイケマセヌカラ、茲ニ官民合同ノ大移民會社ヲ造ル、確力之ニハ政府ニ於テモ相當案ガアルヤウニ思ヒマスガ、此事ニ付テ承リタイト思ヒマス、ソレカラ第六ハ低利資金ヲ海外移民ノ方面ニ使フト云フコトデアリマス、是ハ私ハ直接當局ノ方ニ意見テ言ウタコト

モアリマスガ、其後移民調査會其他デ相當御攻究ニナッテ居ルト思ッテ居リマス、私ハ低利資金ヲ使フト云フ、最も有利ニシテ最も妙味ノアル方面ハ、此海外移民ニ關スル方面デアルト思ッテ居リマス、ソレカラ第七ハ此移民會社或ハ低利資金ト云フモノヲ利用シテ、海外ニ此際土地ヲ買收スルト云フ事ガ必要デアルト思ヒマス、是ハ方面ハ何處ト云フ譯デモアリマセヌガ、是ハ矢張一年後レ、バ後レル程、私ハ斯ウ云フ事ハ絶對ニ出來ナイモノト思ッテ居リマス、現在デアリマスレバ、私ノ知ル範圍デアリマスレバ、極メテ少額ノ金デ極メテ廣イ土地ガ得ラレルヤウデアリマス、最も私ハ熱望スルト共ニ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第八ハ、全國ノ小學校ニ海外發展ニ關スル特殊ノ教育ヲ施サナケレバナラヌト云フ事、是ハ昨年ノ御答辯ニモ稍、之ニ近イ事ガアツタノデアリマスガ、是ハ私ハ是非日本トシテ必要デアラウト思ッテ居リマス、是ハ私ガ極メテ大難駁ナ私ノ所見デゴザイヤスガ、御實行ヲ熱望スルト共ニ之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイ、ソレカラ私ハ序ニ伯刺西爾ノ今年ノ移民ニ關シテ、今色々故障ガ起ッテ居ルヤウデアリマスガ、其經過現在ニ付テ御知ラセテ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ、先般ノ移民調査會デ御調べニナッタ事、此決定ニナッタ事ニ付テ、成ベク隱サズ全部ヲ聽キ

タイト思ヒマス、私ノ此建議案ヲ提出シテ趣旨ハ右ノヤウナ次第デゴザイマス、滿場ノ委員諸君ノ御賛成ヲ願ヒ、同時ニ政府當局ノ御盡力ヲ御願スル次第デアリマス

○中村政府委員 只今ノ御質問ノ第一ハ、移民ノ方針ハドウカ、伯刺西爾移民ニ偏重シ過ギテ居ルヤウデアルガ、各方面ニ互ッテ精査シテ、適當ナ方針ヲ定メル必要ハナイカト云フ事デアリマス、政府ニ於キマシテハ、丁度仰シヤル通りヤッテ居ルノデアリマス、調査モ單リ南米ノミナラズ、近頃ハ暹羅或ハ南洋方面其他ニ對シテモヤリツ、アリ、又將來モヤラセル方針ニナッテ居リマス、大體ニ於キマシテ最近政府ノ方針トシマシテハ、移植民ハ如何ナル方面デモ、適當ニ行キ得ル方面ニハ之ニ便宜ヲ圖ッテヤルト云フ方針ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二ニハ多少ノ不利益ヲ忍ンデモ條約ヲ結ンデ行クヤウナ方法ガアレバ、ソレヲヤッテハドウカ、是ハ其國ノ事情ニ依リマシテ考ヘナケレバナラヌコトデ、條約ヲ結ンデ吾々日本人ノ爲ニ利益ニナル見込ガアレバ、條約ヲ結ンデヤッタ方ガ宜カラウト思フ、併シ條約ヲ結ンデ却テ面倒ガ掛カルヤウナ事デアルナラバ、是ハ現在ノ條約ノ下ニ往來交通自在ニ行キ得ル權利ヲ取ッテ居ル所ナラバ、現在ノ通商航海條約ノ方面ニ於テヤッタ方ガ宜カラウト思ヒマス、併シ今御質問ノ

趣意ハ、若シ北米合衆國ト云フ問題デアリマス、是ハ全然別問題ニナリマスガ、併シ是ハ私ノ個人的ノ意見トシテハ、北米合衆國ニハ勞働者ナドハ行カヌ方ガ宜カラウト思ッテ居リマス、ダカラ條約ト云フヤウナ事モ北米合衆國ニ關スル限リハ考ヘルダケノ價值モナイト云フ位ニ思ッテ居リマス、第三ハ統一整理機關ノ持設、是ハ吾々モ今ノ儘内ニ移民局ト云フ名前ハ私ハ嫌ヒデス、移民ト云フ字ハ餘リ良イ字デハナイト思ヒマス、ケレドモ、兎モ角斯ウ云フ海外ノ渡航移植民ニ關係スル一ツノモット完備シタ機關ノ必要ハ認メテ居リマス、豫算ニモ計上シタコトモアリマスガ、併シ常ニ財政上ノ都合デ仕舞ニハ削ラレテシマッテ、議會ニ提出スル迄ニハ至ラズシテ了ッテ居リマス、何カノ機關ノ設立ノ必要ハ認メルト同時ニ、何トカ實行シタイト云フコトニハ常ニ努力シテ居リマス、ソレカラ第四ハ現在ノ移民獎勵ノ方法ヲ改正スルコト、是モ其方法ハ近頃ハ相當積極的ノ事モヤッテ居リマスガ、仰シヤル通り極ク仕掛ガ小サナモノデアリマス、出來得ルナラバモウ少シ經費モ澤山出シテヤル必要ハ認メテ居リマス、ケレドモ、是モ財政ノ都合デ思フヤウニ運バヌト云フヤウナ次第デ、財政ノ許ス範圍ニ於キマシテハ、段々經費モ増シテ移植民ノ渡航ニ便利ノ増進ヲ圖リタイト思ッ

テ居リマス、第五ハ官民合同ノ移民會社ト云フコトデアリマスガ、移民ニ付テ官民合同ノ會社ヲ設立スルコトガ適當デアルカドウカ、是ハ非常ニ疑問ガアルダラウト思ヒマス、私ナドノ考トシマシテハ、殊ニ日本ノ狀態カラシマシテ、移植民ニ關係スル仕事ハ政府ガ直接ノ關係ガナイ方ガ良クナイカト思ッテ居リマス、寧ロ政府ハ之ヲ援助スルコトハ宜シイケレドモ、其施設經營ノ直接ノ衝ニ當ルモノハ、飽迄純粹ノ民設會社ニシテ、サウシテ政府ハ之ニ援助ヲ與ヘル方ガ適當デハナイカト思ヒマシテ、是ナドモ出來ナラバ何トカ實現シタイト思ッテ、折角考慮中デアリマス、ソレカラ移植民ノ關係ニ低利資金ヲ使フト云フコト、之ガ出來ルナラバ誠ニ良イト思ヒマス、併シ低利資金ノ使用ニ付キマシテハ、其返済ノ方法ガ頗ル確的ノモノデナケレバナラヌ、移植民ノ關係ニ對シテ低利資金ヲ使フニ付キマシテ、返済ノ方法ニ確的ノ方法ヲ發見スルニ中々困難ナ事情ガアリマス、其爲ニ一寸實行ガ困難デアラウト思ッテ居リマス、殊ニ低利資金ノ濫用ト云フ事ニ付テハ、是マデ中々世間デモヤカマシイ事ガアリマシテ、最近大藏省デハ低利資金ノ使用ノ爲ニハ、特ニ委員會デモ設ケテ嚴重ニシヤウト云フヤウナ關係モアリマスカラ、將來ニ於テ償却ノ方法ガ確立スルモノデナイ以上ハ、此方面ニ低利資金ヲ利用サレルコ

トハ或ハ困難デナイカト思ハレル、海外ニ土地ヲ買收スルト云フコト、是ハ既ニ申上ゲマシタガ、民間ノ會社ニシマシテモ、移植民ニ關スル何等カノ機關ガ出來マスルコトハ必要ナ事ト思ヒマス、又サウ云フ機關ガ出來マシタ以上ハ、海外ニ土地デモ買ッテ移植民ヲ植付ケルト云フコトガ、一ツノ主モナル仕事ニナル事ト思ヒマス、ソレカラ全國ノ小學校ニ海外發展ニ關スル特別教育ヲ施スト云フコトハ、是ハ誠ニ私ハ賛成デ、必要ナ事ト思ヒマスガ、是ハドウシテドウスルカト云フコトハ、主管外ニ屬シマスカラ、文部當局ニ傳ヘテ置クコトニ致シマス、伯刺西爾移民問題デアリマスガ、是ハ中々長クナリマスガ、極ク大體ヲ申シマスルト、伯刺西爾移民ハ成績ニ於テ誠ニ良イト思ヒマス、現在ハ三萬五千カラ四萬人ノ間位ニ日本人ガ行ッテ居リマス、初メ行ッタトキハ「コーヒ」園デ勞働スルノヲ目的デ行キマシタガ、是ハ大變ヤサシイ仕事デアリマシテ、家族三人以上ヲ單位トシテ向フニ行ッテ、七ツ八ツノ子供デモ「コーヒ」ヲ摘ムコトガ出來ルサウデアリマス、ソレデ十位ノ子供ト夫婦デ行ケバ、三人デ向フデ働イテ三人共相當ニ給料ガ取レル、サウ云フ譯デゴザイマスカテ、向フニ行ッタ勞働者ハ多少餘裕ガ出來テ、其餘裕ヲ以テ土地ナドヲ買ッテ、三萬何千カアル中デ、近來ハ自分デ地主ニナッテヤル人ガ中

中澤山アル、其地主ト云フノモ中ニハ大變澤山ノ地面ヲ持ッテ居ル、百町歩以上ノ地面ヲ持ッ者モアリマス、十町ヤ二十町歩ノ者ハ普通ニナッテ居ルサウデアリマス、或ハ又自分デ地主ニナッテ居ラナクテモ「コーヒー」園ノ勞働者カラ離レテ、自作農、土地ヲ借リテヤッテ居ル、サウ云フ風ニ獨立、若クハ半獨立ノ生計ヲ營ンデ居ル者ガ半數以上ニナッテ居ルト云フ風デアリマス、尤モ斯ウ云フ風ニ地主ニナッタリ、半獨立シテ居ル連中ハ、餘程奮闘努力ヲシタ結果ト思ヒマスガ、奮闘努力サヘスレバ伯刺西爾ニ行ッテ移民ハ大體ニ於テ成功シテ居ルト見テ宜カラウト思ヒマス、私ノ個人ノ意見トシテハサウ云フ次第デアリマスカラ、彼方ニモ此方ニモ移民ヲヤルヨリモ伯刺西爾ハ南米ノ中デモ日本人ノ發展ニハ一番良イ所デアアル、一番都合ノ好イ所デアアルト云フ理由デ、先ヅ主トシテ伯刺西爾ニ力ヲ注イデ、伯刺西爾ニ行クノガ宜イト云フ意見ヲ持ッテ居リマス、ソレニ依ッテ各方面ニ是迄伯刺西爾移植民ト云フコトヲ頻リニ勸誘シテ居ッテ次第デアリマス、所デ近來伯刺西爾デ何カ排日ト云フ事ガ起ッテ來タヤウナ説モアリマスガ、是ハサウ大シタ憂フベキモノデナイト思ヒマス、併シ御説ノ如ク餘リ長ク愚圖愚圖シテ居ルト、十年、二十年ノ後ニハ何ガ起ルカ知レマセヌガ、兎ニ角現在ノ所ハソレ程憂フベキ状態デハナイ、

併シ御説ノヤウニ餘リ愚圖々々シテ居ルト、日本人ノ行ク先キガ行詰ッテシマフデナイトカト云フ點ニ於テモ、私ハ個人トシテ全然同感デアリマス、ソレ故ニ成ベク早く海外ニ渡航ガ出來ル便利ノ方法ヲ立テルト云フ事ニ付テハ、十分努力シナケレバナラヌ事ト思ヒマス、伯刺西爾ノ移民ニ付テ御話ヲスルト長クナリマスカラ、大體ソレダケデ御免ヲ蒙ッテ、移民調査會ノ話ヲ聽キタイト云フコトデアリマスガ、是ハ移民調査會ノ決議ヲ以テ、調査會ノ内容ニ付テハ之ヲ公表シナイト云フコトニナッテ居リマス、甚ダ残念デゴザイマスカ、サウ云フ都合ニナッテ居リマス、又之ヲ申上ゲタ所ガ、非常ナ參考ニナルヤウナ事モゴザイマセヌ

○田中委員長 長峰君ノ質問ガ濟ミマシタラ、委員外デスガ提案者タルガ故ニ今里君ニ質問ヲ許シナイト思ヒマス

○長峰委員 提出者カラ教育問題ニ付テ御質疑ガアッタヤウデスガ、私モ此機會ニ於キマシテ、外務當局ニ御尋ネシテ置キナイト思ヒマス、殊ニ永井君ノ如キ新進氣鋭ノ方モ居ラレマスカラ伺ヒマス、私ハ四五年以來何時モ請願ノ紹介者トナッテ、外務當局ニモ、文部當局ニモ、御願ヒシテ居ル問題デアリマス、ソレハ在外學校ノ教師ノ恩給ノ事デアリマス、御承知ノ通り是ハ臺灣、朝鮮等ニハ行ハレテ居リマスルガ、支那ニ居リマスル童兒ヲ教育シテ居リマスル教員ニ對シテ、此法ガ行ハレテ居ラナイ、隨テ天津、漢口、上海アタリニ小學校ガアリマスガ、教師ヲ得ルニ付テ恩給ノ關係ガアリマスノデ、優良ナ教師ガ得ラレナイ事ニ苦心シテ居リマス、又教員自體モ早く此恩典ニ預リタイ、此事ハ非常ニ在留日本童兒ノ教育上ニ關係ガアリマスルシ、又父兄モ切ニ之ヲ願ッテ居ルノデアリマス、今回ノ請願ニモ文部當局ガ御出席下サイマシタカラ御願ヒシタ所ガ、御賛成デアリマスカ、不幸ニシテ外務當局ガ御出ニナラナカッタ、只今政務次官ハ教育ノ事ハ文部省ニ願ッタラ宜カラウト云フ御話デアリマシタケレドモ、此事ハ外務省カラ特ニ進ンデ御發下サルヤウニ願ヒタイ、文部省ニ申シマスルト、外務當局ニ一ツ相談シテト云フヤウナ事ガ常ニアルノデアリマス、提案者カラ教育ノ問題モ出マシタカラ、私ハ感謝シテ居リマスガ、此機會ニ特ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ニ付テノ御意見ヲ伺ヒマス

○神田委員 私モ今ノニ關聯シテ居リマスカラ、一寸伺ヒマス、今長峰君カラ支那ノ事ガ出マシタガ、私モ今回南洋ヲ廻ッテ來マシテ、各地カラ教育事業ニ付テ委託ヲ受ケテ來マシテ、幸ヒ好機會デアリマスカラ、外務省ニ私ハ私ノ願書ハ出シテ置キマシタガ、此機會ニ同様に御願フシマスガ、殖民ヲ發展サセルニハ、最近ニ於テハ南洋ハ非常ニソレハ外務省ノ御努力モアリマセウガ、日本人ガ盛ナル發展ヲシテ、尙ホ三年、四年ニナリマス子供ガ非常ニ多クナリ、學校ヲ建テルニ内地デモ教育問題ニ付テハ非常ナル費用ヲ使ッテ居リマスガ、特ニ發展シテ居ル殖民地ニ於テ一番苦心シテ居ルノハ學校問題デアリマス、殊ニ支那ハ今申サレタカラ略シマスガ、如何ニシテ子弟ヲ教育スルカ、自分達ガ殖民ヲ長クシヤウト思ッテモ、自分ノ子孫ヲ考ヘルト其處ニ居ラレナイヤウナ事情ニ居ル人ガ、大分爪哇「ボルネオ」馬來ヲ通ジテアルノデアリマス、到ル處ノ歡迎ノ席ニ於テ何トデアル、既ニ外務省デハ支那ノ學校ニハ多少補助ヲシテ居ルヤウデアアルガ、南洋ニハ其恩惠ガ少イ、是モ一ツ考慮ヲ是非願ヒタイ、ソレカラ教員問題ガサウデアリマス、日本ノ文部省トノ聯絡ガ無イ爲ニ、恩給其他ノ關係デ教員ハ長ク落ツイテ呉レナイ、斯ウ云フ點モ日本ノ文部當局ト聯絡ヲ取ッテ、指定學校同様ニシテ貰ヒタイ、是ハ外務省ト文部省トノ双方ノ認可ガナケレバ出來ナイト云フ關係ニ立ッテ居リマスカラ、斯ウ云フ點ニ向ッテモ、是ハ實際ノ問題デアリマスカラ、ドウゾ長峰サンノ御質問ト同時ニ、考慮ヲ願ッテ置キタイト思フ

○中村政府委員 先程ノ支那ニ於ケル教員ノ恩給問題ハ、是ハ豫算總會分科

會ノトキニモ、御話ガアツカト思ヒマスガ、確カ支那ニ居ル教員ノ恩給ノ支給ノ仕方ガ、朝鮮ヤ臺灣邊リニ居ル人ヨリ不利益ノ地位ニ居ルト云フ話デアリマスガ、ソレヲ救済シテ、少クトモ臺灣、朝鮮ニ居ル人ト同ジヤウニ恩給ヲ取レルヤウニ待遇ヲシナケレバナラヌ、是ハ主義ニ於テハ吾々モ尤モナ事ト思ッテ居リマスルノデ、相當ニ考慮ヲ加ヘツ、アルノデアリマス、幾ラカ財政其他ノ關係モアリマシテ、思フヤウナ運ビニナツテ居ラナイノデアリマシテ、將來ニ於テモ十分考慮ヲ遂ゲル積リデアリマス、ソレカラ南洋方面ハ勿論政府トシテモ調査ヲシタコトモアリマスルシ、將來モ調査ヲシテ、成ベク日本人ノ方面ニ行クノニ便宜ヲ圖ルヤウニシタイト思ッテ居リマス、教育上ノ關係ニ付キマシテハ、是ハ先程申シマシタ通り御同感デ、私共個人トシマシテハ、日本人ノ海外發展ト國民教育ト云フコトヲ、他ノ場所デモ御話シタコトデアリマスガ、日本人ガ海外ニ於テ排斥ナドヲ受ケルノハ、從來ノ國民教育ノ弊害ノ現レダトマデ極論シタコトモアリマスガ、併ナガラ從來ノ國民教育ニ依ッテ、是マデニ發達ヲシタノデアリマスガ、其餘弊トシテ海外發展ノ上ニ惡イコトガ現レテ居ル、之ヲ是正シテ行クト云フコトガ必要デアルノデアリマシテ、機ニ觸レテ此方面ニ十分力ヲ盡シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○長峰委員 臺灣ト朝鮮ニハ内地ト同様ニ恩典ガアリマスルノハ、氣候風土ノ關係ト云フコトデ、熱帶地方デモアリ風土病ガアルト云フコトデ、教員ヲ優遇サレルト云フコトデアアル、其點カラ云フト支那邊リハ尙ホ一層保護シナケレバナラヌト思フ、ソレカラ外務省ガ此教育問題ヲ切實ニ御考ニナラナケレバナラヌノハ、領事アタリガ支那ニ御出ニナルニハ、子供ヲ連レテ御出ニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、サゾ御困リデアラウト考ヘル、ソレデ寧ロ外務省ガ斯ウ云フ問題ハ御心付ニナルコトデアラウト考ヘテ居ッタヤウナ次第デアリマス、吾々トシテモ外交官ニ對シテハ非常ニ同情シテ居ル次第デアリマスカラ、是ハ自分ノ問題トシテ御考ヘ下サルコトヲ特ニ御願ヒシテ置キマス

○田中委員長 今里君

○今里準太郎君 モウ宜シウゴザイマス

○田中委員長 ソレデハ海外移民政策確立即行ニ關スル建議案ノ質問ハ是デ終了致シマス——次ニ咸鏡線速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——提案者松山君

○松山常次郎君 時間モ過ギマシタカラ、極メテ簡單ニ要點ダケヲ、御話シマス、朝鮮ヲ開發スルニハ鐵道敷設ノ極メテ大切ナルコトハ申上グルマデモアリ

リマセヌガ、特ニ咸鏡線ノ通ッテ居ル北鮮地方ハ、朝鮮デモ文化ノ後レテ居ル地方デアアル、而モ日本ニ面シテ居ル所デアリマシテ、將來日本國民ノ發展シテ行クニハ極メテ大切ナル方面デアアル、ソレデドウシテモ是ハ早く鐵道ヲ引カナケレバナラヌト云フコトハ、誰モ考ヘルコトデアリマスガ、特ニ私共此咸鏡線ノ速成ニ付テ違ッタ頭デ刺激セラレマスコトハ、吉會線トノ關係デアリマス、豫算委員會ニ於ケル外務大臣及ビ政務次官ノ申サレテ居ル所ハ、極メテ婉曲ニ申シテ居ラレマスケレドモ、確ニ此吉會線ノ事ニ付テ相當ノ力ヲ入レテ居ラレルコト、思フ、吾々ハ近キ將來ニ於テ此問題ガ解決スルモノダト期待シテ居ルノデアリマス、サウナリマスレバ是ト連絡スル咸鏡線ノ速成ハ極メテ大切デアルト思フ、若シ之ガ連絡シナイデ居リマスルト、吉會線ノ速成ノ上ニモ隨分色ミナ支障ガアルト思フ、色ミノ事ヲ考ヘマシテ、此咸鏡線ノ速成ト云フコトハ極メテ大切ナルコトデ、是ハ地方線デハナイ、幹線デアリマス、ドウシテモ大陸ニ向フニハ、即チ裏朝鮮ノ方カラ滿洲ニ向フ、或ハ將來之ガ西伯利ノ方ニモ連絡シテ、西伯利ニ向ッテ進ム所ノ幹線ニナルノデアリマシテ、是ハ一日モ早く完成スルコトニ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ大正十四年度ノ豫算ヲ見マスト、繰延ニナリマシテ四百八十九

萬二千圓ト云フモノガ、既定計畫ヨリ減少サレテ居ルノデアリマス、今年ノ朝鮮ノ豫算ノ編成ニ於キマシテ、朝鮮總督府ニ於テハ非常ナル英斷ヲ以テ、漏レ聞ク所ニ依リマスレバ中央政府ノ豫期シテ居ッタヨリ以上ニ削減ヲ加ヘマシタト云フコトデアリマシテ、之ニハ色ミ事情ノアルコト、思ヒマシテ、此財政緊縮ノ折柄、是ハ已ムヲ得ヌコト、シテ吾々ハ忍バナケレバナラヌト考ヘテ居リマスガ、併ナガラ茲ニ私共ノ憂ヒマスルコトハ、コンナ事ガ若シ來年モ續クト云フコトニナルト、兎モ角今日マデ朝鮮ニ於ケル第一ノ政策ト致シテ居ッタ鐵道政策ニ向ッテ支障ヲ來シ、朝鮮經營並ニ大陸發展ノ上ニ大ナル問題ト言ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、之ニ付テ政府當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○下岡政府委員 咸鏡線速成ニ關スル建議案ニ付キマシテ、提案者ヨリ只今段々御説明ト同時ニ御質問ガゴザリマシタガ、御承知ノ通り咸鏡線ハ大正三年カラ始ッテ居ルノデアリマスガ、未ダニ出來テ居ラヌ、大正三年ヨリ十四年ニ至ルマデ十年以上掛カッテ、尙ホ三分ノ一モ出來テ居ナイト云フ有様デアリマシテ、朝鮮開發北滿洲トノ交通ヲ豫期スル上カラ考ヘマシテモ、遅々トシテ進マザルコトヲ遺憾トシテ居ルノデアリマス、政府ハ一日モ早くヤラナケレバナラヌト云フコトハ考ヘテ居リマ

スケレドモ、屢、財政上ノ事ニ妨ゲラレテ、繰延又繰延ト云フコトデ、非常ニ遅延ヲシテ居ルヤウナ譯デアリマス、大正十二年度モ千五百萬圓ノ事業ヲヤルノガ千萬圓ニサレ、十三年度モ千五百萬圓ノ豫定ガ千萬圓ノ實行豫算ニナツタヤウナ譯デアリマスカラ、始終成鏡線ノ工事ガ遅レテ居ルヤウナ次第デアリマス、十四年度ニ於テモ千六百五十萬圓ノ豫算ガ、矢張千萬圓ニナッテ居リマス、十五年以後只今決マッテ居ルモノニ依ッテ行ケバ、十七年度ニ於テ完成スル見込ニナッテ居リマス、併ナガラ願フコトナラバ十六年度ニヤッテシマハナケレバナラヌノガ、段々延ビテ十七年度マデト云フコトニ遅レタコトヲ遺憾ニ思ウテ居リマス、ケレドモ今モ申上ゲタ通り、財政緊縮ニ累サレマシテ、斯様ニナッタノデ、此度ノ財政整理ト云フコトニ依ッテ、急ニ緊縮ヲシタト云フ譯デアリマセヌ、是マデ數度繰延ヲシタト云フコトカラ遅レテ來セ、ノデアリマス、十四年度豫算編成ノ際ニモ、松山君ノ御希望ノヤウニ、是ハ豫定ノ通り竣工シタイト云フコトカラ、朝鮮總督府ノ當局者ハ、中央政府ト折衝致シマシタガ、中央政府デハ非募債主義ヲ執ッテ、公債ハ全然打切ルト云フ大方針カラ割出サレマシテ、朝鮮ノ鐵道デ二千萬圓位ノモノヲ募集シヤウトシタノガ、一千萬圓ト云フコトニ限ラレタ爲ニ、其結果自然鐵道ノ延長ト云フ

コトヲ遅ラシタノデアリマスガ、此點ハ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、併シ是カラ先キドウスルカト云フト、提案者ノ御考ヘ通り、遅クモ十七年度、場合ニ依テハ十六年度ニ仕上ゲルヤウニシナケレバ、北方ノ開發ハ勿論、北滿トノ交通上ニモ大ナル支障ガ起リマスカラ、此點ニ付テハ朝鮮總督府トシテハ堅キ決心ヲ持ッテ之ガ實行ヲ計ラウト云フ考デアリマス、恐ラク中央政府ニ於テハ又例ノ非募債主義ノ上カラ、種々ノ故障モアルヤウニ考ヘマスケレドモ、政府ニ於テ大局ノ上カラ考ヘテ、此鐵道ハ一日モ早く完成スルヤウニ努メナケレバナラヌト云フ事ダケハ言明出來ルコト、御了承ヲ願ヒタイ

○松山委員 朝鮮總督府ノ當局ノ之ニ對スル積極的御意見ヲ持ッテ居ラル、コトヲ承ッテ、洵ニ意ヲ強ウスル次第デアリマス、此問題ニ付テ私ハ大藏當局者ニ財政計畫ノ根本ニ觸レテ意見ヲ關ハシテ見タイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマスケレドモ、此所ニ朝鮮特別會計ニ付テノ責任者ガ居ラレルノヲ越エテ、之ヲ申上ゲルコトハ失禮トモ思ヒマスノデ、或ル意味ニ於テ私カラ御話ヲ致スヨリモ、朝鮮總督府ノ當局カラ御話下サツタ方ガ、事ガ圓滿ニ運ブカトモ思ヒマスルカラ、此事ニ付テハ來年度以後ハ豫算編成ノ際ニハ十分ニヤツテ戴キタイト云フコトヲ申シテ置キマス、ソレト同時ニ私ノ之ニ付テ考ヘ

テ居ル事柄ヲ、少シク申上ゲテ置キタイト思ヒマス、例ヘバ日本國內ノ狀態ニ付テ農村振興ノ問題ノ如キモ、國內ダケノ事ヲ考ヘテ居ラテハ、ドウニモ始末ガ付カヌト思ヒマス、人口問題ノ將來ヲ考ヘテモ、此島國ト云フ日本ダケデハ、百年ノ大計ハ樹タヌコトハ既ニ明カニナッテ居リマス、故ニドウシテモ大陸方面ニ向ッテ進ムヨリ他ニ途ガ無イ、換言スレバ島國トシテノ日本ノ經營カラ、將來大陸ヘ伸ビルト云フヤウニ、國策ノ根本ヲ變ヘル外日本ノ活キタル途ハ無イト思ヒマス、是ニ付テ私共政友會ニ屬シテ居ル者デアリマスカ、年來四大政綱ナルモノヲ提ゲテ、其政策ノ遂行ニ努力シテ來タノデアリマスガ、段々此事ニ考ヘ及ビマスルト、此四大政綱モ要スルニ島國日本ノ經營ト云フコトニ屬スルコトデアッテ、是モ大切ナ事デアリマスケレドモ、是ノミニ即シテ居テハ、日本ノ將來ニ大ニ憂フベキモノガアラウト思フノデアリマス、何等カ適當ナル安排ヲスルカ、或ハ或ル部分ハ之ヲ繰上ゲテモ、此大陸方面ニ向ッテ進ムト云フコトノ國策ヲ樹テ、其方法ヲ轉換シナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ッタノデアリマス、今度三派協調ノ内閣ガ出來マシテ、周圍ノ狀況又國民ノ要望トシテ、茲ニ財政緊縮ノ政策ヲ樹テ、之ヲ三派ガ援ケテ政友會モ同意ヲシテ、財政計畫ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フコトニナッ

ノデアリマスガ、之ニ付テハ地方ノ事業ヲ打切ッテ、東京ノ復興ノ爲メニ金ヲ注込ムト云フコトニ付テハ、各方面ニ隨分不平等アリマス、ソレデ將來此事ヲ適當ニ處理スルニハ、幾多紛擾モ起ルダラウト思ヒマスケレドモ、私共考ヘマスルニ、茲デ一ツ此財政ノ計畫ノ轉換期ニ於テ、國內ノ事ハ繰上ゲテモ、大陸方面ニ向ッテ大ナル施設ヲスル所ガナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、ソレニ付テ具體的問題トシテ申上ゲルノハ此吉會線ノ問題、之ニ連ナル咸鏡線ノ問題ト云フヤウナモノハ、實ニ日本國民ノ將來ニ向ッテ重大ナル關係ヲ有スル鐵道線路ト考ヘルノデアリマス、若シ此根本方針ニ付テ大藏當局ガ東京ノ震災復興ノ爲ニ、斯ウ云フ咸鏡線トカ吉會線ト云フヤウナ鐵道線ノ既定計畫マデニ縮小シテ、東京ノ復興ニ全力ヲ注グト云フヤリ方デ進ムモノトスレバ、吾々ハ大ニ之ヲ爭ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、ドウカ私共ノ此事ニ付テ考ヘテ居ル所モ、或場合ニ於テ大藏當局ニ御傳置キ下スツテ、此大切ナル大陸ニ向ッテ進ム幹線デアル所ノ此咸鏡線ノ速成ガ、一日モ早く實現セラレマシヤウニ、朝鮮總督府當局ノ特別ナル御努力ヲ御願ヲ致シマスル次第デアリマス

○下岡政府委員 事財政ニ關係スルコトデアリマスルカラシテ、今政府委員トシテノ私ヨリ、此以上進ンダ事ハ申

ス譯ニハ參ラヌノデアリマスルケレドモ、併ナガラ政府トシテ見ル所デハ、此威鏡線ノ建設ノ急務デアルト云フコトハ固ヨリ認メテ居ルコトデアリマシテ、已ムラ得ズ此財政緊縮ノ結果少シク延ビルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスルケレドモ、恐ラクハ大正十五年度以降ノ財政ニ於テハ、サウ總テノ點ニ於テ相モ變ラズ消極ト云フ譯ニハイカヌモノト思ヒマス、殊ニ此朝鮮方面ニ於ケル開發、只今松山君ノ御話ノ如クニ、大陸發展ノ上カラ考ヘテ此裏朝鮮ノ方カラ北滿トノ交通ヲ圖ルト云フヤウナコトハ、急務中ノ急務デアルト云フコトハ政府モ認メテ居ルコトデアリマシテ、自ラ十五年以降ノ豫算ニ付キマシテハ、多少此點ニ於テ是マデノ遣方トハ趣ヲ異ニシナクテハナラヌト云フ風ニ見ラレテ居リマスルカラ、提案者ノ御希望通り行クカ否ヤト云フコトハ保證ハ致スコトハ出來マセヌケレドモ、出來得ベキダケ其方針ニ向ッテ進ムベク努力スルコトヲ茲ニ言明ヲ致シテ置キマス

○田中委員長 外ニ御質問ハアリマセヌカ

〔無シト呼フ者アリ〕

○田中委員長 ソレデハ質問ハ終了シタルモノト致シマシテ、次ニ移リマス

次ハ朝鮮及臺灣ニ地方自治制施行ニ關スル建議案提案者神田正雄君ヨリ御説明ヲ願ヒマス

○神田委員 極ク簡單ニ申上ゲマス、本建議案ハ委員ノ方ミハ皆御諒解下スツテ居ルコト、思ヒマシテ、深クハ申上ゲマセヌガ、只今松山君ノ御話ノ通り、日本ノ將來ノ使命ガ大陸發展ニアルトスレバ、何ガ一番必要デアルカト云ヘバ、此架橋ニナッテ居ル朝鮮ト臺灣ノ兩者ノ關係ガ初メテ日本ノ大陸發展ノ根本ヲ爲シ得ルモノト思フノデアリマス、而シテ此只今ノ御話デハ、威鏡線モ出來ズ、臺灣ニモ十分ナル鐵道ガ出來ナイヤウナ御話デアリマスルガ、比較的此物質的ニハ、日本ガ朝鮮ヲ合併シ臺灣ヲ領有シマシテカラ後ノ發展ト云フモノハ、是ハ單ニ朝鮮臺灣ニ居ラレル日本人ガ認メルバカリデナク、旅行者悉ク認メ、外國人スラモ驚異ノ眼ヲ以テ日本ノ朝鮮及臺灣ニ對スル施設ヲ見テ居ルノデアリマス、此點ニ於テハ勿論満足ト云フ譯ニハ行キマスマイガ、比較的遺憾ガ少イ、併ナガラ此朝鮮ニ於ケル一千七百萬アル朝鮮人、臺灣ニ於ケル三百七十餘萬ノ臺灣本島人ニ對シテ、此心カラノ統治ガ出來テ居ルカ、サウ云フ事ヲ考ヘマスルト、是ハ諄々シク申シマセヌガ、朝鮮ノ人達ハ日本ノ政治ニハ大體ニ於テ満足ハ表スルガ、奈何セン大キナ意味デ申セバ參政權、自分達ノ自由自主ノ權ガ無イト云フ點カラ、今回ノ建白書ヲ合セテ四回ニモ互ッテ、毎年々々代表者ガ來テ、日本ノ政府ニ朝鮮ノ方ハ議員ノ選舉

法、詰リ參政權ガ欲シト云フ請願ガ出テ居リマス、臺灣ハ今年ニ至ルマデ六回デゴザイマスルガ、臺灣議會設置請願ガ出テ居リマシテ、毎年是ハ相當ノ費用ヲ使ッテ、丁度日本ノ維新當時以來、日本人ガ自由ヲ得ルガ爲ニ日本ノ人達ガ奮闘努力シテ、產ヲ蕩盡シタ政治家ガ幾多アッタガ如ク、臺灣及朝鮮ニ於テモ決シテ當ニ煽動政治家バカリデナク、心カラドウカシテ此臺灣ノ人、朝鮮ノ人ガ仲介トナッテ、將來日本ノ大陸發展ノ上ノ仲介者トナルニハ、先ヅ精神的ノ融和モシテ欲シト云フ見地カラ、度々ノ請願ガ現ハレテ居ル所ヲ以テ見マシテモ、明カナ事實デアリマス、而モ大陸發展ノ根本策ニ至ッテ、單ナル物質的ニ行カヌト云フコトハ、長クナリマスカラ例ヲ簡略ニ申シマスガ、日本ガ日露戰爭ノ際ニ勝ッテ場合ニ、今瀕死ノ狀態ニ居ル孫文氏ハ、何ヲ言ウタカト言フト、支那ノ有名ナ人達ガ集ッテ——特ニ進歩シタ人達ガ集ッテ、日本ノ人達ハ露西亞ニ勝ッテ東洋ノ政策ヲシテ呉レル、若シ日本ガ本當ノ仁政ヲ布イテ呉レルナラバ、吾々ノ支那ト云フ國ハ、國家トシテ仁政ヲ布ク所ナラ誰ニデモ就クノダカラ、吾々ハ同盟シテ日本ト聯合シヤウデハナイカト云フ話ガ出來テ、殊ニ倫敦ニ於ケル留學生、亞米利加ニ於ケル留學生等ガ一致ノ決議ヲ孫文氏ニ送ッタト云フ例ガアリマシタ、サウ云フ風ニ精神的ノ

結合サヘ出來レバ大陸ノ發展ノ上ニ大ナル効果ヲ舉ゲ得ルト思ヒマスル、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、單ニ今朝鮮及臺灣ニ居ル政治家ガ、私ハ根本ニ惡イト云フノデハナイガ、斯ウ云フ精神的ノ方面ノ緩和ガ出ルヤウニ爲サレバ、其間ニ私ハ非常ナル聯絡ガ付キハセヌカ、之ニハ先ヅ朝鮮及臺灣ノ事情ヲ顧ミテモ、一足飛ビニ參政權ヲ與ヘタリ、議員ヲ出シテ來ルコトモドウカ、及ビ臺灣議會ノ如キコトモ漸ヲ追ウテ——今日言明ノ限リデハナイガ、進ムトシテモ何等ノ階梯モ與ヘズ、自治ノ訓練モ與ヘナイト云フコトデハ、將來如何ニ參政權ノ要求ガ進ンデ來テモ、非常ナル不便ヲ來シハセヌカ、ソレニ對シテハ先ヅ第一階梯トシテ、此朝鮮及臺灣、殊ニ風俗習慣ヲ異ニシテ居ル合計二千餘萬ノ人ミニ對シテ、地方ノ自治ヲ布イテ、今日ハ半分地方自治ノ關係ノヤウニナッテ居ルガ、之ヲ實際ノ自治ニ任セテ訓練ヲシ、自分達ノ財政、自分達ノ村、自分達ノ町、自分達ノ首府ヲ治メルコトニ於テ、自己ノ選ンダ代表者ニ於テ之ヲ爲サレルヤウナ方式ニ進メテ戴クコトガ出來レバ、其處ニ初メテ朝鮮ノ人達モ全部千七百萬人ノ人ヲ感服サセルコトガ出來ナイトシテモ、大體ノ人達ガ日本ノ制度ハ——日本ノ政治家ハ斯ノ如ク寛大ナル處置ヲシテ呉レテ、吾々モ同等ノ待遇ヲシテ呉レルト云フコトニナレバ、將來支那問題

ノ展ビル上ニモ非常ナル効果ガアルト云フコトヲ私ハ深く信ジテ疑ハナイ、斯ウ云フ見地カラ今マデノ政府ニセ早ヤ意思ガアルコト、信ジテ居リマスルガ、此上一步ヲ進メテ之ヲ爲スト云フコトハ非常ナル必要ノ急ニ迫ッテ居ルト考ヘテ居ル、殊ニ是ハ一部ノ話デアリマスルガ、今マデノ日本ノ議會ニ於テハ、朝鮮人ガ如何ニ請願ヲ出シテモ、一遍モ採擇ニサレズ、何度建白書ヲ出シテモ、日本ノ人達ハ之ニ同情ヲシテ呉レルコトガ少イト云フコトガ、朝鮮及臺灣ニ於ケル怨嗟ノ聲トナッテ居ル、斯ウ云フ風ナ立場デ、緩和ノ上ニモ非常ナル關係ガ有ルカラ、此點ニ向ッテドウゾ此地方自治ノ建議案ハ、政府ニ於テ十分ナル好意ヲ以テ御採擇ニナランコトヲ私ハ希望シテ已マナイ次第デアルト同時ニ、之ニ對スル御意見ヲ伺フテ、吾々委員ノ決定ノ上ノ參考ニシテ戴キタイト思フノデアリマス

○下岡政府委員 今日ハ植民地全體ヲ統轄スル方面ノ政府委員ガ出席シテ居リマセヌカラ、私ハ自分ノ職務上關係アル朝鮮ノコトニ付テ御答ヲ致シマス、朝鮮ニ付キマシテ、一方物質上ノ開發ヲ圖ル必要ガアリ、又其施設ヲ著々進行シテ行クト同時ニ、政治的ニ如何ニ取扱フベキカト云フコトニ付テ、最も考慮ヲ要シ、適當ナル方法ヲ執ラナケレバナラヌト云フ提案者ノ御話ハ、御尤ト存ジマス、勿論政治的ニ朝鮮ヲ

如何ニシテ行クカト云フコトニ付テハ、何時迄モ之ヲ放任スベキモノデモナシ、又一定ノ方針ヲ持タズシテ其日暮シノ事ヲスベキモノデナイト云フコトハ、歷代ノ當局者ハ慎重ナル考慮ヲ拂ヒツ、アツタノデアリマス、而シテ地方自治ノ點ニ付テ如何ニヤッテ行クカ、參政權問題ノ如クヤカマシク言ッテ居ルモノヲ、如何ニ取扱フカト云フコトニ付テ、當局ノ考ヲ大要申述ベヤウト思ヒマス、固ヨリ政治上朝鮮ヲ取扱フニ付テ、物ニハ相當順序ガアリマシテ、國政上ニ朝鮮ノ民ヲシテ參加セシムルニハ、先ヅ以テ地方自治ニ參與セシメテ訓練ヲ積マシメ、進ンデ國政上ニ發議ノ權ヲ得セシムルノガ順序ト考ヘマス、此意味カラ朝鮮ニ於テハ其下地準備、雛形ヲ實行シツ、アルノデアリマス、大正九年ニ自治ノ制度ニ近キモノヲ作りマシテ、道府面ニ於テ之ニ似タモノヲヤッテ居リマス、而シテ其成績ハ惡クナイノデ、漸進的ニ進ムナラバ豫期ノ效果ヲ擧ゲ得ルト信ジテ居ルノデアリマス、即チ道ニハ道ノ評議會ガアツテ、評議員ノ三分ノ二ハ公選、三分ノ一ハ官選デアリマス、道評議會ニ於テ道ノ豫算ヲ議スルノデアリマス、議決機關デナク諮問機關デアリマスガ、其議決ハ大體當局者ガ容認シテ實行シテ居ルノデアリマス、ソレカラ其下ニ府及面ノ協議員會ガアリマシテ、是ハ府若クハ指定シタ面ニ於テ——四十一ノ面

ト十二ノ府トアリマスガ、此四十一ノ面ノ協議員ハ公選デアリマス、面ノ總數ハ二千五百餘アリマスガ、大部分ノ面ハ程度ガ低イノデ協議員ハ總テ官選ニシテ知事ガ選任スルコトニナッテ居リマス、官選ノ協議員會ニシテモ程度ハ低イノデスガ、稍、自治體ノ形ヲ備ヘテ居リマス、併シ訓練スルナラバ、將來府及面ニ於テハ自治體トシテ相當ノ働ヲ爲シ得ル見込デアリマス、サウ云フ狀態デアリマスカラ、進歩シタル方面ニ於テハ、立派ナ自治團體トスルコトガ出來マスカラ、更ニ進ンデ適當ナル方法ニ於テ、參政權ヲ與ヘ得ル時期ガ、サウ遠カラザル將來ニ於テ來ルデアラウト思ヒマス、併シ訓練スルニ相當ノ時日ヲ籍サナケレバ、一足飛ビニヤルコトハ却テ統治ニ益ナクシテ害ガアルト思ヒマス、御提案ノ趣意ハ御尤デアリマスカラ、成ベク之ニ副フヤウニ進ミタイト思ヒマス、大體右ノヤウナ次第デアリマス

○後藤政府委員 只今ノ御尋ニ關シ、臺灣ニ關スル限ニ於テ所見ヲ申シマス、臺灣ニ於テモ去ル大正十年地方制度ノ改正ガ行ハレマシテ、地方自治ノ制度ノ基礎ガ置カレタノデアリマス、其後マダ長イ年月ヲ經テ居リマセヌ、其實績ニ付テ色々ノ批評モアリマスケレドモ、漸ヲ以テ進歩シツ、アルノデアリマス、文化ノ普及及自治ノ訓練ノ進行ニ伴ッテ、自治ノ制度ヲ漸ヲ追ウテ發達サセナケレバナラヌモノデアルト考ヘテ居リマス、唯、其順序方法ハ極メテ實情ニ適切ナ事柄ヲ、慎重ナル考慮ノ下ニ實施シテ行カナケレバナラヌト云フ考デアリマス、建議案ノ趣旨トサレル所ニ向ッテ、今日進行シツ、アルモノデアルト考ヘテ居リマス、大體ニ於キマシテ建議案ノ希望セラレテ居ル所ハ是マデノ實際ノ徑路ノ筋ニ載ッテ居ルノデアリマス、唯、其順序方法ニ付キ、又實際ノ遺方ニ付テハ、實情ニ適シタ慎重ナル考慮ノ下ニ實施シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○神田委員 御說明デ此趣旨ニ御賛成下サツテ、大變光榮ニ思ヒマス、御尋ヲ致シタイノハ此徑路ヲ進ンデ居ルト云フガ、是ハ御見込デハ何時頃カラ完全ナル自治體ガ布ケルカト云フコトヲ第一ニ伺ヒタイ、今一ツハ臺灣ノ方ノ事デアリマスガ、朝鮮ハ公選ノ道評議會デ、又府及面ノ協議會モ一面ニ於テ公選ノ人ヲ採ッテ居ル、臺灣ニ至リマスト悉ク官選デアリマス、而モ朝鮮ノ民族他ヲ比較致シマスレバ、寧ロ或點ニ於テハ臺灣ノ方ガ進ンデ居ルト私ハ信ジテ居リマス、而モ日本ニ歸屬シタ年限ニ於テモ、臺灣ノ方ガ倍デアアル、然ルニ臺灣デハ今日依然トシテ少シモ公選ノ議員ヲ出シテ居ナイ、自治ガ一步進ムト云ヒナガラ——大正十年ト仰ッシャッタガ、兩方トモ大正九年ニ自治制度ヲ

午後四時四十二分散會

布イタト思ッテ居リマス、自治ノ根據ト云フモノハ布イテ居ル、サウシテ居ル點デ一方ニハ厚ク一方ニハ薄ク、而モ民族性ヲ本當ニ當局ガ御考ヘニナッタラ、朝鮮ト臺灣ノ間ハ寧ロ顛倒デアアル、御承知デアリマセウガ、支那ノ自治體ハ或意味ニ於テ非常ニ發達シテ居ル、今日モ支那ノ内部ニ行ケバ、政府ノ監督其他ガ行届カナイ結果ト云フモノハ村ノ民、町ノ民ガ自ラ其町ヲ支配シ、其村ヲ支配シテ居ル、殊ニ是ハ二千年來ノ習慣ニナッテ居リマス、其習慣ヲ臺灣ニ持來ラシテ居ル、臺灣ノ人ニ向ッテ何故ニ朝鮮ノ如ク半分ノ公選デモ布イテ居ラナカッタノカ、此點モ一寸伺ヒタイ

○下岡政府委員 前段ノ御問ニ私ヨリ御答致シマス、何時頃ニナッタラ完全ナ自治制度ヲ布ク見込カト云フ御尋ニ付キマシテハ、ドウモ時期ヲ明言スル譯ニ行キマセヌ、自治ニ關スル訓練ガ十分ニ届イテ、即チ完全ナル自治制度ヲ布クニ適當ナ時代ガ來タナラバ行ハウト云フノデアリマスカラ、其自治ヲ認メルニ至ルノハ何時頃カト云フコトハ、一寸早急ニ出來惡イノデアリマスカラ、其點ハ此以上御答スルコトガ出來ナイト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイ

○後藤政府委員 完全ナル自治ヲ何時頃布クコトガ出來ル見込カト云フ御尋ニ對シマシテハ、只今朝鮮ノ政務總監ガ御答ヘニナッタト同様ナ答ヲスル外

アリマセヌ、臺灣ニ於ケル今日ノ自治ノ制度ガ朝鮮ノ自治ノ制度ト異ッテ居ルト云フコト、而シテ住民ノ自治制度ニ關スル能力ト云フモノニ付テハ相當ナ進步發達ヲシテ居ルモノト見テ宜シイノデハナイカ、何故ニ朝鮮ト同ジヤウナ制度ガ少ク共布カレテ居ラナイカト云フ御尋デアリマス、朝鮮ノ事情ハ私ハ能ク心得マセヌノデ、朝鮮ニ比較シテノ事ハ申上ゲルコトガ出來マセヌ、又現在ノ自治制ノ制定ノ當時ニ於テハ、只今ノ制度ヲ適當ナリト見テ之ヲ施行シマシタ事ニ付テハ、當時ノ當局ガ臺灣ノ實狀ニ顧ミテ最モ適切ナ事ヲ實行サレタモノト考ヘテ居リマス、今日ノ臺灣ノ自治制施行後ノ狀況ニ見テ、更ニ之ヲ改メル必要ガ有ルカ否カ、改メル必要アリトスレバ今後ドウ云フ工合ニ改メテ行クカト云フ事ニ付キマシテハ、是ハ慎重ナ考慮ヲ要スルモノト考ヘテ居リマス、私今具體的ニ之ニ付テ御答辯スルダケノ結論ニ達シテ居リマセヌガ、唯、先程申シマシヤウニ、文化ノ普及ト自治ノ訓練トニ伴ッテ、漸ヲ逐ウテ發達セシメテ、ソレニ伴ッテ適當ナル施設ヲ進メテ行クヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○神田委員 臺灣ノ方面ニ付テ今一言御尋致シタイノハ、近來臺灣ノ人ノ一番不平ニ思ヒマスノハ、協議會ガ街、ソレカラ庄ニ設ケラレテ居ナイト云フコトデ、此街長庄長ハ皆知事ノ任命デアアル、其結果街長庄長ハ自由自治ノ名ニ藉リテ協議會ニ諮レバ、一切ノ事ガ自由ニ行ハレテ名ハ協議會ノ諮詢ヲ經タト云フコトニナッテ、從來自治ヲ布カナイ前ヨリハ幾多ノ困難ガ出來ルト云フヤウナ不平ヲ慫ヘテ來ルト云フ話ガアリマス、斯ウ云フ事ニ付テハ——尤モ御赴任日淺イノデサウ云フ細カイ處マデ御調査ガ出來テ居ラヌカモ知レマセヌガ、サウ云フ事ガ完全ノ自治ヲ布キタイト云フ根本義ニナッテ居ルト思ヒマスカラ、サウ云フコトヲ御聞込ニナッタラ伺ヒタイ、又サウ云フ事ヲ認メテ居ラヌノナラバ居ラヌト云フ御答辯ガ伺ヒタイ

○後藤政府委員 只今御話ノ通りマダ日ガ淺イノデ、サウ云フコトハ耳ニシタコトハアリマセヌガ、協議會ガ在ル爲ニ、矢張民意ノ疏通ガ協議會ノ無キ前ヨリモ出來テ居ルト云フ事實ハ聞イテ居リマス、併シソレハ總テ理想ノ如ク行ッテ居ルモノデアアルカドウカト云フコトニ付テハ、今私ガ此所ニハッキリ申上ゲルコトハ出來マセヌ、能ク調べマシテサウ云フコトニ付テハ實情モ明カニシタイト考ヘマス

○田中委員長 他ニ質問ガアリマセヌカ——ソレデハ本案ハ是デ質問ヲ終了致シマシタモノト致シマシテ、本日ハ是デ散會致シマス、次回ハ公報ヲ以テ通知致シマス